

# 第5期

(平成29年6月1日~平成30年5月31日)

# 事業報告書



公益財団法人 まちみらい千代田

## 目 次

はじめに	.....	1
<b>第5期 事業報告書</b>		
1 住宅まちづくり ～快適な都心居住に向けて～	.....	2
2 産業まちづくり ～地域産業の振興に向けて～	.....	33
3 協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりにに向けて～	.....	59
4 理事会・評議員会・監査	.....	68

## はじめに

「まちみらい千代田」は、平成 26 年 1 月に公益認定を受け、昨年 6 月から第 5 期に入りました。

第 5 期においても【住宅まちづくり】【産業まちづくり】【協働まちづくり】の体系のもと、各事業に積極的に取り組みました。

### 【住宅まちづくり】

マンション関連施策では、新たにマンションの再生（修繕・耐震等改修・建替え）に向け、管理組合への支援を充実し、再生計画検討への助成等を行いました。さらに、マンションの安全・安心整備助成として、エレベーターのリニューアル工事への助成を拡充しました。

また、借上型区民住宅については、特優賃型の管理運営を行っていますが、そのうち、1 棟 14 戸が借上期間の満了を迎えたため、区と連携しながら入居者及び建物所有者へ適切な対応を行いました。

### 【産業まちづくり】

前期に行った「産業まちづくり事業検討会」の結果を踏まえ、「中小ビルマネジメント支援小冊子」を発行するとともに、「ビジネス起業塾」では新たに「業種特化編」を追加し、さらに修了生のフォローアップ相談を開始しました。また、10 周年の節目を迎えた「ちよだビジネス大賞」では、新たにロゴマークやレリーフを作成し、大賞受賞がより価値のあるものになるよう努めました。

「地方との連携」では、「千代田まちづくりサポート」を紹介するなど地方におけるまちづくり活動を応援するとともに、地方のまちづくり会社（団体）との交流を深め、地域活性化支援の可能性を探りました。

### 【協働まちづくり】

まちづくりサポート事業は、「はじめて」「一般」「テーマ」「普請」の 4 部門で募集し、21 グループの応募がありました。中間発表会は 3 つのグループに分けて、パネルディスカッション方式で行い、対話の時間を増やし、各グループの課題の再確認につなげました。

賛助会員等への事業報告・交流会は、開催周知の徹底により、前期を上回る参加を得て、ご意見をいただくとともに、異業種交流を図ることもできました。

第 6 期も引き続き公益法人としての認識をしっかりと持ち、柔軟性と迅速性を活かした事業展開により、区民をはじめ中小企業者等の皆さんの期待に応えてまいります。

公益財団法人 まちみらい千代田

# 住宅まちづくり

## ～快適な都心居住に向けて～

「暮らす」をテーマに、安全安心で住みやすい居住環境づくりのお手伝いをします

### 住宅まちづくり

I	マンション居住支援	1	情報収集・発信	
			a) 総合相談窓口の設置	P 3
			b) マンション管理関係函書の貸出し	P 4
			c) 情報紙の発行	P 5
			d) 管理会社との連絡会の開催	P 6
			e) マンション実態把握	P 7
		2	管理・コミュニティ支援	
			a) 管理組合運営支援	P 8
			b) アドバイザーの派遣	P 9
			c) マンション管理セミナー・講座の開催	P 10
			d) マンション連絡会の開催	P 12
			e) マンション・カフェの開催	P 14
			f) マンション・コミュニティ構築支援	P 15
			g) コミュニティ・イベントへの参加	P 16
			h) マンション管理組合顧問派遣（新規）	P 17
		3	建物維持・整備支援	
			a) 劣化診断調査費助成	P 18
			b) マンション再生方針検討助成(名称変更)	P 19
			c) 大規模修繕工事債務保証料助成	P 20
			d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成	P 21
			e) マンション再生計画検討助成(新規)	P 22
			f) 安全・安心整備助成(拡充)	P 23
			g) 建築物共同住宅整備促進事業(ミニ優良)受付(新規)	P 24
		4	防災対策促進支援	
			a) 防災計画等策定支援	P 25
			b) 防災用品等準備助成	P 26
			c) エレベーター閉じ込め救出訓練支援(試行継続)	P 28
II	借上型区民住宅の管理運営		a) 特優賃型住宅の管理運営	P 30

# I マンション居住支援

## 1 情報収集・発信

### a) 総合相談窓口の設置

#### □事業内容

マンションに関するさまざまな相談を、窓口・電話・電子メールなどで受け付け、その相談内容に応じて、まちみらい千代田が実施している助成制度や専門家の派遣などの支援策を活用しながら、課題の解決に向けたサポートを実施していきます。

また、マンションに関する国や東京都、関係団体等の動向、マンションの抱える様々な課題等について、指導・助言を行う顧問を委託します。

#### □事業規模

##### ○窓口及び電話での相談受付

予定件数	第5期実績	達成率
200件	213件	106.5%

○マンション相談窓口は、週5日間、平日9時から17時まで対応します。

○顧問は、マンション管理セミナー、マンション連絡会など他の事業やイベントへの参加・助言、作成資料等の監修、連絡調整等を担います。

[決算額] 5,289,602 円 (当初予算 5,301 千円)

[第5期実施状況]

マンション管理士を常駐配置し、窓口及び電話等での相談業務を行い、迅速な対応と的確なアドバイスを行ってきました。その結果、継続的に窓口相談に来る管理組合が増え、昨年同期間の33件に比べ、25件の増となりました。

相談内容	管理組合	修繕関係	防災関係	※その他	計
窓口	52	5	1	0	58
電話	61	9	17	68	155
件数	113	14	18	68	213

※その他の主な内容は、助成制度の問合せ、建替え等の相談です。

[評価等]

行政等の窓口にマンション管理士が常駐して相談態勢をとるのは、あまり例がありません。これからも「マンションの総合窓口」として、千代田区の地域特性による高経年マンションの再生等の相談に対応するため、専門家の知見を活かし、より一層、相談業務の充実に努めていきます。

## b) マンション管理関係図書の貸出し

### □事業内容

マンションの管理等に関する書籍を購入し、マンション管理組合の役員等や総合相談窓口での相談者に対して、書籍無料貸出しサービスを実施しています。

### □事業規模

予定件数	第5期実績	達成率
20件	20件	100.0%

[決算額] 0円（当初予算 50千円）

### [第5期実施状況]

マンションの管理等に関する図書を購入し、管理組合の役員の皆さん等を対象として図書の貸出し業務を行っています（書籍数414冊）。

第5期は、各図書の概要や、どのような問題に役立つかなどを整理して、ウェブサイト上に蔵書リストを掲載しています。また、貸出し図書をマンションの無料窓口相談でも活用しています。

今期の貸出し先は、千代田区在住者、区内マンションの区分所有者、在勤者でした。

### [評価等]

これからも、窓口相談や電話相談でも活用できる書籍を選定し、追加購入していきます。第6期では、図書貸し出しの案内チラシを作成し、定期的にマンション連絡会会員等に周知し、図書の貸出し実績を増やしていきます。



## C) 情報紙の発行

### □事業内容

#### ①マンションサポートちよだ

マンションの維持管理やマンションでの生活に役立つ情報を提供する情報紙「マンションサポートちよだ」を年4回定期的に発行し、分譲マンションの居住者、管理組合、関係機関へ配付します。

#### ②マンションサポートちよだ mini

「マンションサポートちよだmini」は、マンションに関する国や東京都の動向をはじめ、首都圏での状況、マンションの管理運営方法などマンション全般にわたる情報を毎月提供します。

#### ③マンションへの情報提供

マンション住民に対する情報提供の手段の1つとして、区コミュニティ総務課と連携し、区・まちみらい千代田・関係団体からの情報を取りまとめ、チラシやお知らせなどを定期的にマンション管理組合へ送付します。

### □事業規模

#### ①マンションサポートちよだ

発行部数 10,000 部（うちマンションへの配付は約 8,000 部）  
年4回発行（6月、9月、12月、3月）

#### ②マンションサポートちよだmini

発行部数 500 部 年 12 回発行・A4 版 1 ページ（毎月 1 回）

#### ③マンション管理組合への情報提供

年 12 回（毎月 1 回）送付 送付対象 約 490 ヶ所

発行項目	予定回数	第5期実績	達成率
①マンションサポートちよだ	4回	4回	100.0%
②マンションサポートちよだmini	12回	12回	100.0%
③マンションへの情報提供	12回	12回	100.0%

[決算額] 4,779,931 円（当初予算 4,902 千円）

[第5期実施状況]

「マンションエレベーター閉じ込め救出訓練」、「高経年・旧耐震マンションの再生支援」、「住みなれた地域とマンションでいつまでも元気に暮らしたい」など、マンション居住者に役立つ記事の掲載、読まれる紙面作成を行いました。

情報紙は、管理組合や管理会社の協力で現在 103 棟のマンションへ約 6 千部を個別配付しています。戸別配付以外の約 380 棟には、各 5 部を配付し掲示や回覧等をお願いしています。

[評価等]

特集記事は、時宜に応じたもので好評です。また、アンケート等で情報紙送付後の活用実態を把握し戸別配付の協力が得られる管理組合及び管理会社を増やしていきます。

#### d) 管理会社との連絡会の開催

##### □事業目的

区内マンションの日常の管理を管理会社に委託している割合は、現在90%を超えています。

管理会社への情報提供が直接にマンションの管理組合や理事会へ伝わることから、管理会社と良好な関係を築いていくことが重要です。

また、区内マンションの実態を把握するうえでも、管理会社の役割は大きいと言えます。そうした観点から、管理会社との連絡会を開催します。

##### □事業規模（予定件数など）

予定回数(予定社数)	第5期実績	達成率
1回（10社以上）	1回（9社）	100.0%（90.0%）

※出席者 9社 11名

[決算額] 2,520円（当初予算 17千円）

##### [第5期実施状況]

今期は、まちみらい千代田と連携、協力する意向がある管理会社を募り、「長周期地震動について」の説明（講師・気象庁地震津波監視課技術専門員）と申請時期が重なっていた「民泊（住宅宿泊事業法）」に係る意見交換を実施しました。民泊に関して、管理規約の改正の実態や自治体の総合窓口の一元化など、有益な意見交換ができました。

##### [評価等]

第3期から第5期まで、区やまちみらい千代田からの情報提供を中心とした連絡会を延べ3回開催しましたが、管理会社側のメリットがないと考えられているためか、参加は多くありませんでした。

第6期では、年1回の情報交換会とは別に、意欲的な取り組みをしている個別の管理会社との継続的な話合いの場を設けていきます。



## e) マンション実態把握

### □事業内容

これまで「千代田区分譲マンション実態調査」（平成 26 年 3 月）をもとに約 3 千棟の基本的な事項について調査した「千代田区共同住宅実態調査」（平成 27 年 5 月）の結果を、データ化及びシステム構築し、マンションカルテを作成（平成 28 年 3 月）し、第 4 期で新たな建設物件のデータを更新しました。

第 5 期では、作成したマンションカルテの更新およびメンテナンスを行います。

### □事業規模（予定件数など）

予定件数	第 5 期実績	達成率
通年	通年	100.0%

[決算額] 0 円（当初予算 700 千円）

### [第 5 期実施状況]

第 3 期までにマンション実態調査の調査データ情報が一覧表示できるよう、「マンションカルテ」としてシステム化を完了しました。さらに第 4 期は新たな建設物件のデータを更新しました。第 5 期は、「マンションカルテ」の更新及びメンテナンスを継続しています。

### [評価等]

「マンションカルテ」は、新たな制度や事業展開を検討する等、区全体のマンション状況の把握が必要などときに精度が高く、有効なデータとして活用しています。

有用な「マンションカルテ」となるよう、定期的に新たなマンション建設の情報や、既存データの未入力項目、未設定項目について順次、調査等の結果を反映させ入力し、データの補完を行っています。

第 6 期では新たに、協働まちづくり事業 Ⅲ「調査研究等の実施」として、5 年ごとに実施している「マンション実態調査」を行い、「マンションカルテ」に反映させます。

## 2 管理・コミュニティ支援

### a) 管理組合運営支援

#### □事業内容

マンション管理組合の通常総会や臨時総会を開催する際の会場費の一部を助成します。

①マンション防災計画を策定し、マンション連絡会に加入しているマンション管理組合に通常総会・臨時総会の会場使用料を上限 6,000 円まで支援します。

②マンション防災計画は未策定で、マンション連絡会加入のマンション管理組合には、通常総会・臨時総会の会場使用料を上限 3,000 円まで支援します。

#### □事業規模（予定件数など）

項目	予定件数	第5期実績	達成率
①	15 件	7 件	46.7%
②	10 件	3 件	30.0%

[決算額] 20,810 円（当初予算 120 千円）

[第5期実施状況]

（助成マンション）

地 区	築 年 数	階数（地上）	総戸数
麴町地区	25 年	17 階	54 戸
	46 年	8 階	19 戸
	35 年	12 階	107 戸
	15 年	12 階	87 戸
	47 年	7 階	19 戸
神田地区	39 年	8 階	64 戸
	2 年	13 階	46 戸
	9 年	10 階	37 戸
	15 年	11 階	51 戸
	2 年	13 階	46 戸

[評価等]

管理組合の総会を開催する際、有料の外部会場を利用するよりも、マンションの集会室やエントランスを会場にする場合が多いため、申し込みは多くありません。引き続き、区の出張所（区民館）や民間の貸会議室を利用している管理組合や総会等の開催準備にあたる管理会社への制度周知に努めます。

## b) アドバイザーの派遣

### □事業内容

マンションの維持管理・修繕や建替え・管理組合の運営といったマンションに関する様々な課題の解決や、共同建築や再開発の初動期における活動に対して、専門家による専門的・技術的な見地からアドバイスを受けることができるよう、まちみらい千代田に登録しているアドバイザーの中から、一級建築士・マンション管理士・再開発プランナーなどの資格を持つ適切な人材を派遣します。(1 団体あたり派遣回数の上限は年間6回です)

### □事業規模

共同化・再開発・建替に関する派遣4団体(12回)、  
マンションの維持管理に関する派遣2団体(6回)を予定しています。

派遣項目	予定団体数及び予定回数	第5期実績	達成率
共同化・再開発・建替え	4団体	3団体	75.0%
	12回	18回	150.0%
マンション維持管理	2団体	11団体	550.0%
	6回	15回	250.0%

[決算額] 495,000 円 (当初予算 270 千円 )

### [第5期実施状況]

内 容	団体数	派遣アドバイザー
沿道まちづくり再開発に関すること	2 団体	再開発プランナー
建物の共同建築に関すること	1 団体	再開発プランナー
マンション維持管理に関すること	11 団体	マンション管理士

※いずれも継続して支援中です。

### [評価等]

アドバイザー派遣を利用した団体からは、「千代田区の外郭団体であるまちみらい千代田からの派遣であり、安心である」、「自分たちだけでは判断できないことを適切に行うことができた」等の高い評価を得ています。

今後も高経年マンションが多い千代田区の特徴から、再開発・共同化、建物の再生についての相談や、アドバイザー派遣需要の増加が見込まれるため、専門的な登録アドバイザーを増やし、派遣態勢の充実を図ります。

## c) マンション管理セミナー・講座の開催

### (1) マンション管理セミナー

□事業内容 マンション居住者を対象とし専門家によるセミナーを開催。

第5期は、民生委員制度創設百周年に合わせ、民生児童委員、町会と連携して「町会とマンション」をテーマにセミナーを開催します。

予定回数	第5期実績	達成率
1回	1回	100.0%

### (2) マンション管理講座

□事業内容 マンション管理組合の役員や、マンション居住者等を対象として基本編と応用編の2つの講座を実施します。

①基本編 マンション管理の基本をテーマ設定し、2回実施します。

②応用編 主にマンション管理組合の役員が対象です。個別のテーマ（管理組合の会計・高経年マンションの建替え・耐震診断と改修等）を設定し、2回実施します。

コース	予定回数	第5期実績	達成率
基本編	2回	2回	100.0%
応用編	2回	2回	100.0%

[決算額] 407,392 円（当初予算 406 千円）

[第5期実施状況]

### (1) マンション管理セミナー

[テーマ] マンションセミナー「町会とマンション」

9月30日（土）15時～ 区民ホール 参加者 100名

（第1部）基調講演 ノンフィクション作家・山岡淳一郎氏

（第2部）パネル・ディスカッション「町会とマンション」

（町会長、マンション管理組合理事長、民生児童委員協議会会長、大学教授、区地域振興部長の5名と山岡氏）

町会関係者、民生児童委員、マンション連絡会会員の参加が多く、盛況でした。また会場では、まちみらい千代田賛助会員による周知スペースとして、パネルの展示や資料等の配付を行いました。

セミナー参加者に実施したアンケートでは、「パネル・ディスカッションの人选が良かった」、「町会や民生委員の大変さが良くわかった」、「定期的開催し

てもらいたい」、「質疑応答があっても良かった」、等の意見がありました。

## (2) マンション管理講座

コース	開催日	内 容	参加者
基本編(1)	7月19日(水)	管理組合運営	20名
基本編(2)	11月15日(水)	マンションの修繕の流れ	27名
応用編(1)	1月24日(水)	民泊 ～あなたのマンション大丈夫ですか?～	15名
応用編(2)	3月7日(水)	マンションに100年安全で快適に暮らす方法	29名
合 計			91名

(開催時間 18時30分～20時30分 定員30名)

講座開始前18時から30分間、受講者の有志10数名によるコミュニケーションタイムを設けて、各マンションが抱える課題などについて話し合いました。主に建物と居住者二つの老いが話題となり、建物再生や役員のなり手不足が喫緊の課題であることが明らかになりました。

実施後のアンケートでは、役員の固定化、管理会社との関わり方・不満、積立金不足など、管理組合運営への悩みが数多く見受けられました。今後実施してほしいテーマとしては、大規模修繕や建物維持管理、管理会社・施工業者への対応などの要望がありました。

### [評価等]

マンション管理セミナーでは、アンケート結果を踏まえ、参加者の要望にできる限り応えられるような内容のテーマを検討しました。

マンション管理講座は、民泊事業者による届出の受付開始(3月15日)が目前にせまっていたため、「民泊(住宅宿泊事業法)」への管理組合の対応を時事問題として取上げました。また、修繕に係る講座は毎回受講者が多く、築年数が経過したマンション居住者が今後増加することを踏まえ、今後は、より実質的な修繕をテーマとした講座を開催していきます。



マンションセミナー(平成29年9月30日開催)のポスター

#### d) マンション連絡会の開催

##### □事業内容

千代田区マンション連絡会は、区内マンション管理組合の理事長を会員として構成されています。

隔月に開催する情報交換会では、まちみらい千代田や千代田区からの情報提供のほか、マンション管理組合の皆さまによる情報交換を行います。

情報交換会は、管理組合の理事長、もしくは理事会等が承認した所有者、居住者が参加できます。

##### □事業規模

情報交換会予定回数	第5期実績	達成率
6回	6回	100.0%

[決算額] 177,809円(当初予算 180千円)

##### [第5期実施状況]

情報交換会を偶数月に開催し、区や関係団体等からの情報提供や参加者同士の意見交換を行いました。第5期の概要は下記のとおりです。

日付	参加者数	主な議題	情報交換会の主な内容
6月10日(土)	16名	第5期の事業計画の説明	マンション・コミュニティ・ゼミ、災害用自販機、エレベーター閉じ込め救出訓練など
8月5日(土)	23名	改正個人情報保護法の解説	マンション空き駐車場のサブリース、高経年・旧耐震マンションの再生支援、マンションセミナーなど
10月28日(土)	15名	住宅宿泊事業法(民泊新法)の解説・注意点など	省エネ機器LED照明について、住宅宿泊事業法(民泊新法)に対応した管理規約となっているかなど
12月16日(土)	17名	千代田区民泊条例の進捗状況	マンション・コミュニティゼミ活動発表、大規模修繕工事のマンション外断熱について
2月24日(土)	16名	長周期地震動	気象庁から「長周期地震動」について、まちみらい千代田から、「管理会社連絡会」の開催状況について
4月21日(土)	14名	千代田区のマンション調査	千代田区で実施のマンション調査について、まちみらい千代田の4月以降の体制について

[評価等]

参加者からは、「他のマンションと情報交換ができて、とても参考になる」、「まちみらい千代田等からの情報提供は大変有意義だ」との評価を得ています。

平成 30 年 5 月末日現在、区内の分譲マンション約 460 棟を把握していますが、「マンション連絡会」の会員数は 93 棟です。今後も機会があるごとにマンション連絡会への加入を促していきます。

また、より多くのマンション管理組合の皆さんが参加でき、有益な情報や意見交換の場となるよう、皆さんの意見を把握し、「必要な情報」や「知りたい情報」を提供していきます。

マンション管理組合理事長 様

## 千代田区マンション連絡会 入会のご案内

マンション管理組合のみなさまによる情報交換や、行政等からの情報提供のため、マンション管理組合の理事長を会員として「千代田区マンション連絡会」を開催しています。連絡会には、理事長だけでなく、理事会でマンションの代表者と認められた方もご出席いただけます。

連絡会の趣旨に賛同いただき、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

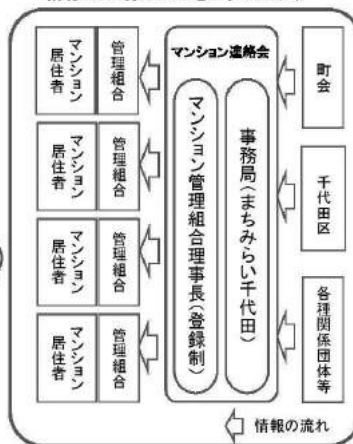
### ■ ご入会について

「千代田区マンション連絡会」は、マンション管理組合の理事長で登録をお願いします。申請書に、必要事項をご記入の上、理事長印を捺印いただき郵送にてお申し込み下さい。

「千代田区マンション連絡会」は隔月で偶数月に主に千代田区役所で開催しています。ご入会いただいたマンションには、開催の案内を送付いたします。



### ■ 千代田区、町会、各種関係団体からの情報伝達網の確立を目指します。



### ■ 特徴

1. マンションの理事長に会員となっていただけます。
2. 事務局は、(公財)まちみらい千代田が行います。
3. 理事長及び理事会運営をサポートします。
4. 会員は、会の趣旨に賛同いただき、理事会の承認のうえご入会ください。
5. 地域町会と協働して活動します。
6. 政治活動・ビジネス活動・宗教活動を行いません。個人情報 は 保 守 し ま す。

※会費は無料です。

お問合せは、  
(公財)まちみらい  
千代田まで!



まちみらい  
千代田

公益財団法人まちみらい千代田  
住宅まちづくりグループ  
TEL03-3233-3223 FAX03-3233-7557  
E-mail: kyojyu@mm-chiyoda.or.jp

マンション連絡会入会案内

## e) マンション・カフェの開催

### □事業内容

マンション居住者同士や地域住民との交流の場として、第2期から区のコミュニティ総務課及びまちみらい千代田の主催で「ちよだマンション・カフェ」を開催してきました。しかし、本来の事業目的であるマンション居住者の参加者が少ない状況等から、マンション・カフェの運営手法等について、区コミュニティ総務課と協議・検討した結果、参加者同士の継続的な交流をより一層深め、マンション・コミュニティの醸成を図るため、民主導によるマンション・カフェの実施をめざします。

### □事業規模

開催予定回数	第5期実績	達成率
6回	19回（345名参加）	316.7%
・マンション・コミュニティ・ゼミ	10回	147名
・文人通りギャラリーカフェ	3回	25名
・神田を面白がる会	3回	53名
・マンション管理セミナー	1回	約100名
・マンション管理講座基本編	2回	約20名

[決算額] 0円（当初予算 626千円）

### [第5期実施状況]

新たな運営手法によるマンション・カフェが開催され、19回 345名の参加を得ました。

- ①地域コミュニティ醸成支援事業「マンション・コミュニティ・ゼミ」（区コミュニティ総務課主催）により、マンション住民の学びと実践の連続講座が実施されました。
- ②「千代田まちづくりサポート事業」（まちみらい千代田主催）を活用した2事業（文人通りギャラリーカフェ、神田を面白がる会）が定期開催されました。
- ③「マンション管理セミナー」では、講演会に引き続き、マンション管理組合理事長の代表他によるパネル・ディスカッションを開催しました。
- ④「マンション管理講座」（管理組合役員等が参加対象）では、講義開始前に受講者同士のコミュニケーションタイムを設けて互いの課題を話し合いました。

### [評価等]

区コミュニティ総務課がコミュニティ醸成支援事業として実施している「マンション・コミュニティ・ゼミ」などを、まちみらい千代田の「コミュニティ構築支援」事業の中で引き続き支援していきます。



## f) マンション・コミュニティ構築支援

### □事業内容

マンションの維持管理や防災対策、管理組合活動などを円滑に進めることができるように、その前提になるコミュニティ形成に関する活動などの支援を行っていきます。

第4期から、多額のイベント費用がかかると要望が多かった大規模マンションへの割増として、概ね100戸以上を対象に5割増加算しています。  
 (助成内容：対象経費の1/2、上限は地域協働3万円、マンション内2万円、概ね100戸以上のマンション4万5千円、対象はマンション連絡会会員・防災計画策定マンション)

### □事業規模（予定件数など）

助成項目	予定件数	第5期実績	達成率
地域協働オープン開催 (1/2助成、上限3万円)	4件	0件	0.0%
マンション内限定開催 (1/2助成、上限2万円)	10件	1件	10.0%
概ね100戸以上 (1/2助成、上限4.5万円)	6件	5件	83.3%

[決算額] 185,004円（当初予算590千円）

[第5期実施状況]

（助成マンション）

地区	築年数	階数(地上)	総戸数	内容
麴町地区	39年	7階	32戸	防災訓練
神田地区	42年	9階	121戸	防災訓練
	15年	29階	324戸	納涼サマーコンサート
				クリスマス会
	11年	21階	108戸	納涼懇親会
クリスマス会				

[評価等]

イベントを検討・実施するマンションは多いのに、申請数が少ないのは、支援制度の周知不足と考えられます。「マンションカルテ」の利用やマンション実態調査時の訪問等、周知を強化していきます。また、支援の内容等について、マンション連絡会や管理会社との連絡会の場を活用し、検討していきます。

### g) コミュニティ・イベントへの参加

#### □事業内容

区で実施しているイベント「福祉まつり」、「くらしの広場」に参加し、まちみらい千代田が実施している事業等を周知するとともに、マンション管理士による相談等を実施します。

また、町会等が実施する地域のイベントにまちみらい千代田のブースを設けるなどして参加します。さらに、イベント実施時は機材を貸出します。

#### □事業規模

実施項目	予定回数	第5期実績	達成率
イベント開催	4回	4回	100.0%
グッズ作製	1回	0回	0.0%

[決算額] 17,744 円（当初予算 410 千円）

#### [第5期実施状況]

まちみらい千代田の事業や活動を周知するとともに、まちみらい千代田の名前・電話番号入りグッズを配付しました。

福祉まつり	10月21日（土） 区民ホール・かがやきプラザ	パネルの展示やチラシ、パンフレット、グッズ配付（200個）
くらしの広場	11月10日（金） 区民ホール	クイズラリー、グッズの配付（150個）
地域町会等のイベント	8月5日（土） 日テレ通り盆踊り	グッズの配付（200個）
	11月3日（祝） 外神田五軒町町会ファミリー会 （アーツ千代田3331）	グッズの配付（50個）

※クイズラリーの問題「マンション相談をしている公益財団といえば？」

回答「まちみらい千代田」

#### [評価等]

第5期は、第4期に作製したグッズを継続配付しましたが、第6期では新たにグッズを作製し、まちみらい千代田の活動周知に活用します。

また、マンション居住者がイベントへの参加者としてだけでなく、主体者としての活動ができるよう支援の仕組みを検討していきます。

## h) マンション管理組合顧問派遣（新規）

### □事業内容

高経年マンションの建物再生に向け、マンションの行く末を検討できる状況まで管理組合を支援していくためには、管理組合運営の適正化・管理規約の整備・長期修繕計画の作成、見直し等を最初に行う必要があります。

初期段階の支援として、管理組合運営の適正化や建物の再生を進めるための規約・長期修繕計画等の整備を行い、管理組合運営の適正化を図るためマンションの理事会や総会に出席して、助言・指導を行う顧問を派遣します。

### □事業規模

予定件数	第5期実績	達成率
2管理組合	0件	0.0%

[決算額] 1,487,160 円（当初予算 1,020 千円）

### [第5期実施状況]

千代田区は早くからマンション建設が始まったため、築後 35 年以上を経過したマンションが約 140 棟存在し、建物の再生が喫緊の課題となっています。

そこで、マンション管理組合への顧問派遣をはじめとした、「高経年・旧耐震マンションの再生支援」パンフレットを作成し、区内分譲マンションへ配付して、周知を行っています。

### [評価等]

第5期実績が0件だったのは、初期段階での「アドバイザー派遣」活用が問題解決につながり、管理組合運営を円滑に進められるようになったためです。

今後は、窓口相談の際だけでなく、「マンションカルテ」データをもとに、築年数の経過したマンションに対して、制度の周知を図ります。

### 3 建物維持・整備支援

#### a) 劣化診断等調査費助成

##### □事業内容

マンションの長期修繕計画の作成や大規模修繕工事を行う際には、事前に建物の現状把握のために劣化診断調査を行う必要があります。

また、第4期から、簡易耐震診断への助成を行っています。

- ①劣化診断調査のみ・・・・・・・・・・ 対象経費の1/2、上限 50 万円
- ②劣化診断調査と長期修繕計画作成 対象経費の1/2、上限 80 万円
- ③簡易耐震診断・・・・・・・・・・・・・ 対象経費の1/2、上限 20 万円

##### □事業規模

予定件数	第5期実績	達成率
9件 ※	10件	111.1%

※①劣化診断2件、②長期修繕計画2件、③簡易耐震診断5件

[決算額] 3,758,000 円 (当初予算 3,600 千円 )

#### [第5期実施状況]

窓口相談、アドバイザー派遣、理事会に参加を要請された場合等、様々な機会に助成制度の案内を行う際にも、大規模修繕工事の事前調査として、建物の劣化診断調査の必要性や当該制度の活用について、説明しています。

建物の劣化診断調査のみの助成が7件、劣化診断調査と長期修繕計画の作成・見直しが3件の合計10件です。それぞれの建物の概要と助成額は、以下の通りです。

築年数	総戸数	階数(地上)	助成額
47年	19戸	6階	31万5千円
9年	67戸	14階	49万円
34年	21戸	6階	25万5千円
13年	318戸	40階	80万円
38年	42戸	7階	31万5千円
14年	53戸	10階	22万5千円
9年	54戸	15階	40万5千円
18年	16戸	7階	19万6千円
35年	95戸	12階	48万7千円
35年	65戸	10階	27万円

#### [評価等]

大規模修繕工事の前だけでなく、長期修繕計画の見直しや作成の際にも、この制度が活用できることを説明し、既存のマンションを良好に保てるように支援を継続します。

b) マンション再生方針検討助成（旧：建替え等検討調査費助成）

□事業内容

築後 30 年を経過したマンションで、マンションの再生計画検討を見据えて、マンションの再生方針（修繕・耐震等改修・建替え）を検討する際に、管理組合の活動費用（コンサルタント費用等）の一部を助成します。

（助成内容：対象経費の 1 / 3、3 年間の助成額の合計が 100 万円以内）

□事業規模

予定件数	第 5 期実績	達成率
1 件	0 件	0.0%

[決算額] 0 円（当初予算 1,000 千円）

[第 5 期実施状況]

マンションの建替えや大規模修繕など、マンション再生について窓口相談へ来られたマンションの役員に対してや、アドバイザー派遣やまちみらい千代田職員派遣により、マンションの理事会等へ参加の機会には、「高経年・旧耐震マンションの再生支援」パンフレットを配付して、この制度を詳しく説明したうえで活用を働きかけています。

[評価等]

理事会での検討や管理組合内での合意形成等に時間を要するため、助成する状況には至っていませんが、制度について相談を受けているマンションが数棟あります。

千代田区の特長として築後 30 年以上を経過したマンションが増加し、建物の再生に向けた検討を始めるマンションも多くあることから、管理組合の理事会等へ出向いて説明することで、制度内容等をより一層周知していきます。

### c) 大規模修繕工事債務保証料助成

#### □事業内容

住宅金融支援機構（旧：住宅金融公庫）の共用部分リフォーム融資を受け、(公財)マンション管理センターに債務保証を委託した際、保証料を助成しています。

(助成内容：上限 50 万円)

#### □事業規模

予定件数	第 5 期実績	達成率
2 件	0 件	0.0%

[決算額] 0 円 (当初予算 1,000 千円 )

#### [第 5 期実施状況]

この助成は、「住宅金融支援機構」(マンション共用部分リフォーム融資)や「マンション管理センター」(債務保証制度)を活用することを前提とした事業です。

第 5 期は、大規模修繕工事の際に「マンション共用部分リフォーム融資」を受けるマンションが少なかったことから、申請件数は 0 件となっています。

#### [評価等]

大規模修繕工事の前に実施する建物の「劣化診断調査費用助成」は、第 5 期に 10 件の申請がありました。それらの建物は、第 6 期以降に大規模修繕工事を予定していると考えられるので、今後、助成申請につながると予想されます。

第 6 期は、広報紙やウェブサイトなどへの掲載、窓口相談やまちづくりアドバイザー派遣の機会に他の各種制度とともに周知を図っていきます。

#### d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成

##### □事業内容

住宅を含む再開発や共同建替えを行う団体に対し、平成 10 年からその活動費用の一部を助成しています。

(助成内容：年間 50 万円を上限、3 年間)

この制度は第 5 期で改正して、再開発・共同建築推進組織のみに対する助成制度となっています。(マンション単棟の建替えは次頁の助成制度へ)

##### □事業規模

予定件数	第 5 期実績	達成率
2 件	1 件	50.0%

[決算額] 500,000 円 (当初予算 1,000 千円 )

##### [第 5 期実施状況]

今期は、新規助成である「マンション再生方針検討助成」や「マンション再生計画検討助成」と制度内容を見直し改正することで、この制度は再開発・共同建築推進組織のみに対する助成制度となりました。

現在、神田地域において再開発計画があり、検討を行っている「再開発準備組合」の活動(土地所有者 17 名・借地権者 112 名・規模 24,500 m<sup>2</sup>)に対して 1 件 50 万円を助成しました

なお、まだ申請には至っていませんが、他の神田地域ではアドバイザー派遣を行っている 2 件の「まちづくり検討団体」が、再開発及び共同建築に向け勉強会を継続し開催しています。

##### [評価等]

会員を募り会費を徴収し自主的に活動を始めているまちづくり検討会等に対して、初動期における組織運営費等を助成し費用負担を軽減します。今後もアドバイザー派遣から当該制度につなげるように働きかけます。

### e) マンション再生計画検討助成（新規）

#### □事業内容

概ね築後 35 年を経過したマンションで、マンション単棟の建替え等建物の再生を検討する団体に対して活動費用の一部を助成します。

（助成内容：対象経費の 1 / 2、上限 30 万円、3 年間）

（前頁の「再開発・共同建築等推進組織に対する助成」から「マンション単棟の建替え」について移行し、再生全体を支援しています。）

#### □事業規模

予定件数	第 5 期実績	達成率
5 件	1 件	20.0%

[決算額] 300,000 円（当初予算 1,500 千円）

#### [第 5 期実施状況]

今期の助成で 3 年目となるマンションから報告書が提出される予定です。

なお、申請には至りませんが、マンションの再生に関する相談やアドバイザー派遣が増えています。

#### [評価等]

第 5 期の新規事業としての周知が不足していたため、申請件数は 1 件にとどまりました。

千代田区には現在約 460 棟の分譲マンションがあり、そのうち約 140 棟のマンションが築後 35 年を経過しています（参考：平成 25 年分譲マンション実態調査、平成 26 年共同住宅実態調査）。日々の窓口・電話等での相談やマンション訪問等の際に制度内容を説明し、活用してもらうことで、マンションの再生を支援していきます。



## f) 安全・安心整備助成（拡充）

### □事業内容

共用階段等の「手すり設置や段差解消等」安全に資する工事を行う場合や、エレベーター（EV）の「地震時管制運転装置」・「戸開走行保護装置」が設置されていない場合及びエレベーターのリニューアル時に2装置と停電時自動着床装置を設置する際に、その費用の一部を助成します。

（対象経費の1/3、上限金額は手すり設置または段差解消等100万円、地震時管制装置30万円、戸開走行装置30万円、EV更新100万円）

また、防犯カメラの設置について助成をします。

（分譲マンションを対象に経費の1/2、上限金額は30万円）

### □事業規模

助成項目	予定件数	第5期実績	達成率
手すりの設置または段差解消等	2棟	2棟 161万円	100.0%
地震時管制運転装置	2基	0基 0円	0.0%
戸開走行保護装置	2基	1基 30万円	50.0%
3装置を含むEV更新	2基	1基 100万円	50.0%
防犯カメラの設置（分譲）	4棟	0棟 0万円	0.0%

[決算額] 2,910,000円（当初予算 6,400千円）

### [第5期実施状況]

第5期で、さらに活用しやすくするため、助成項目の見直しなどを行い、エレベーターリニューアルの助成額を増やし、手すり・スロープ設置等の安全・安心整備をより進めやすくしました。

	築年数	階数（地上）	総戸数
手すり設置等	45年	10階	99戸
	10年	15階	56戸
戸開走行保護装	13年	14階	51戸
エレベーター更	35年	11階	19戸

### [評価等]

第5期は、地震時管制運転装置や防犯カメラの設置への助成申請件数が0件でした。助成制度の周知不足と考えられますので、第6期では、情報紙やウェブサイトへの掲載、チラシの作成・配付等積極的に周知して申請につなげます。

### g) 建築物共同化住宅整備促進事業（ミニ優良）受付（新規）

#### □事業内容

区役所で行っている「建築物共同化住宅整備促進事業（ミニ優良）」を、まちみらい千代田にて、建替えの事前相談から制度の紹介・説明を行い、制度活用へつなげられるようにアドバイスをして、建物の再生を推進するため当該制度の申請受付を行います。

#### □事業規模（予定件数など）

予定件数	第5期実績	達成率
通年	0件	0.0%

[区執行額] 0 円（当初予算：区予算 9,000 千円）

#### [第5期実施状況]

この制度は、国や東京都の補助金事業であり、申請受付業務が区への補助対象になるため制約があること等を考慮して、まちみらい千代田の事業としては、マンションの再生相談、共同化推進組織等からの相談の際に、選択肢の一つとしてご案内するに留めることとしました。

#### [評価等]

日々のマンション相談で、建替えや大規模修繕、耐震改修等の建物の再生に関する相談が増えています。今後とも区の住宅課と連携し、相談者の意向をつなげていきます。



## 4 防災対策促進支援

### a) 防災計画等策定支援

#### □事業内容

マンションの防災計画策定を予定している管理組合に対して、防災アドバイザーの派遣を行い、そのマンションの実態に即した計画策定の支援を行います。また、防災計画の策定に関連してマンション内の自主防災組織の立ち上げや防災訓練の実施についてもお手伝いします。

#### □事業規模（予定件数など）

防災アドバイザー派遣 予定回数	第5期実績	達成率
100回（100棟）	2回（2棟）	2.0%（2.0%）

[決算額] 710,660円（当初予算 1,541千円）

#### [第5期実施状況]

まちみらい千代田の持つマンション施策のノウハウを活かし、マンション防災対策の総合窓口として機能強化を図るため第2期から実施している制度です。

#### （助成マンション）

地区	築年数	階数	総戸数	内 容
麹町地区	39年	7階	32戸	防災計画策定済、防災訓練実施
	16年	13階	35戸	防災計画未策定

区の防災担当課より事業移管を受けた第2期から通算し、72棟のマンションで防災計画が策定されました。

#### [評価等]

マンションの防災計画策定は、管理組合・理事会での合意形成に時間を要することから、防災アドバイザーの派遣実績が低くなっています。

第6期では、防災計画が未策定のマンションに対して、マンション実態調査等の機会をとらえて訪問し、防災アドバイザーの活用を積極的に周知していきます。

## b) 防災用品等準備助成

防災計画を策定している又は検討している管理組合に対して、EV キャビネットの配付、AED の設置並びに災害用資器材等の購入費を助成します。

### □事業内容

#### (1) EV キャビネットの配付

エレベーターでの閉じ込めの際、救助までの間に必要な物資を入れたキャビネットを配付します。

#### (2) AED の設置

マンション内だけでなく近隣地域で利用できる AED をマンションに設置する場合、AED と収納ボックスを無償提供します。

#### (3) 災害用資器材等購入費助成

災害発生時に必要となる窓・ドアの破壊器具（バールやハンマー等）や避難器具、発電機や非常用テント等の資器材の購入、また、水や非常食、携帯トイレ等の備蓄物資の購入費用の一部を助成します。

（助成内容：経費の1/2で上限額は、分譲15万円、賃貸10万円、また、新規助成の分譲は経費の2/3で上限額は20万円です。）

### □事業規模

項目	予定台数	第5期実績	進捗率
EV キャビネットの配付	20 台	4 台	20.0%
AED の設置	25 台	5 台	20.0%
災害用資器材等購入費助成	新規 10 台 更新 6 台	3 台 2 台	31.3%

[決算額] 2,513,056 円（当初予算 5,839 千円）



[第5期実施状況]  
(助成マンション)

地区	築年数	階数(地上)	総戸数	助成項目
麴町地区	39年	7階	32戸	災害用資器材等購入費助成
	17年	12階	63戸	EVキャビネット、AED
	39年	13階	234戸	EVキャビネット
	16年	14階	35戸	AED
	19年	13階	82戸	災害用資器材等購入費助成
	3年	11階	39戸	AED
	36年	11階	53戸	災害用資器材等購入費助成
	16年	5階	14戸	災害用資器材等購入費助成
	38年	8階	55戸	災害用資器材等購入費助成
	1年	12階	31戸	EVキャビネット
神田地区	1年	13階	109戸	AED
	7年	19階	88戸	EVキャビネット、AED

[評価等]

防災用品等準備助成については、問合せ等が多くあるにもかかわらず、管理組合・理事会での合意形成に時間を要することから、検討段階にとどまっている場合が多いようです。

第6期では、助成制度について、広報紙やチラシ、ウェブサイトなどで周知を強化するとともに、助成制度活用を希望するマンションには、防災計画策定と一体的な事業であることから、計画策定を最優先とし、丁寧な対応に努めます。



AED

### c) エレベーター閉じ込め救出訓練支援（試行継続）

#### □事業内容

首都直下地震発生が危惧される現在、発災時はマンションのエレベーターが停止することが予想され、その際には閉じ込めが懸念されています。

長時間の閉じ込めが発生した緊急時に備えるため、マンション居住者自らが救出できるよう、エレベーター救出訓練を実施し、その費用を助成します。

第5期では、第4期に引き続き、試行的に実施することとし、その効果と安全性を検証し、第6期で制度化するかを決めていきます。

#### □事業規模

予定回数	第5期実績	達成率
3回（3棟）	0回（0棟）	0.0%

[決算額] 216,000円（当初予算 600千円）

#### [第5期実施状況]

第5期も引き続き試行事業のため、マンション連絡会などを活用し、訓練実施の働きかけを行ってきました。実施を検討していたマンションは数棟ありましたが、訓練の実施には管理組合・理事会での合意形成に時間を要することから、実施及び費用助成申請には至りませんでした。

今まで試行実施してきた当該制度の取りまとめとして、マンション防災・都市防災の有識者・学識経験者の方々に、訓練報告書を基にご意見をいただきまとめました。

#### [評価等]

上記ご意見の結果、エレベーター閉じ込め救出訓練を公的機関である、まちみらい千代田で実施することの意義は大いにあるが、単体の助成として行うだけでなく、マンションの防災訓練・避難訓練の一環として実施していくという結論にいたりました。第6期からは、「防災計画等策定支援」の中で運用していきます。

## Ⅱ 借上型区民住宅の管理運営

借上型区民住宅は、民間の地権者が建設した集合住宅を一定の期間（建設時から20年間）まちみらい千代田が一括して借り上げ、所得が一定基準の範囲内にある中間所得層の世帯を対象にして賃貸する公的な住宅です。

入居者には世帯の所得に応じて家賃の一部助成があり、家賃負担を軽減するように配慮されています。家賃（入居者負担額）・共益費・敷金（保証金）を除き、礼金、手数料、更新料などの負担はありません。

借上期間満了の時期も迫っていますが、区と連携し、入居者の生活基盤である住宅の適切な管理運営に努めていきます。

特優賃型住宅（4棟）のうち、1棟が借上期限満了となりました。

なお、区単独型住宅6棟については、第4期末（平成29年5月）までに全て契約期間満了となりました。

### ■借上型区民住宅一覧（特優賃型住宅）

建物名称（借上期限満了日）	住所	戸数	戸数計
テルセーロ三鈴（平成30年5月26日）	岩本町1-12-7	14	59
パリセイド東神田（平成30年8月3日）	東神田3-2-1	16	
コンフォートタカシマ（平成31年5月31日）	岩本町1-2-16	12	
SHフラット（平成32年8月31日）	神田和泉町1	17	

特優賃型住宅とは、国庫補助事業である特定優良賃貸住宅制度を活用して、国・東京都・千代田区の補助を受けて建設された民間賃貸住宅を、所有者からまちみらい千代田が借り上げ、主に中間所得層を対象として供給する住宅です。

### ■住宅の間取り・面積

間取り			面積		
2LDK	40戸	68%	55㎡以上～60㎡未満	25戸	42.4%
			60㎡以上～65㎡未満	14戸	23.7%
3LDK	19戸	32%	65㎡以上～70㎡未満	1戸	1.7%
			70㎡以上	19戸	32.2%
計	59戸	100%	計	59戸	100.0%

a) 特優賃型住宅の管理運営

- ① 入・退去管理
- ② 家賃・共益費等の収納管理
- ③ 建物保守管理、共用部の維持管理
- ④ 居室内の小修繕対応
- ⑤ 所得調査、世帯員変更等の入居者管理
- ⑥ 調査報告書等の作成
- ⑦ 問い合わせ対応
- ⑧ 賃料・共益費の見直し
- ⑨ オーナーへの各種報告
- ⑩ 自治会の実施
- ⑪ その他住環境の良好な維持に関する業務

予定件数	第5期実績	達成率
通年	通年	100.0%

[決算額] 148,454,894 円 (当初予算 161,593 千円)

[第5期実施状況]

1. 入退去管理 (入居：2戸) (退去：8戸)

2. 家賃・共益費等の収納管理

月平均滞納戸数：5戸 月平均滞納額：1,302,193 円

(前年同期間比：4戸 1,217,500 円)

滞納は昨年より増加しました。個別訪問にて滞納額減少に努めます。

3. 居室内の小修繕対応 (対応戸数：15戸)

4. 所得調査、世帯員変更等の入居者管理 (調査戸数：47戸)

入居世帯の状況を正確に把握し、入居者負担額の正確な算出を図るため、提出資料の精査に努めました。

5. 説明会の実施

平成30年度に借上期間満了を迎える住宅の入居者に対して、それぞれ説明会を実施しました。

テルセーロ三鈴	10月 6日 (金)	岩本町ほほえみプラザ
パリサイド東神田	11月 14日 (火)	千代田パークサイドプラザ

借地借家法に基づき、契約満了について、「契約を更新しない旨の通知」を各入居者へ送付しました。入居者によって家族構成、所得等が異なるため、個別の相談が増えましたが、区の方針に基づき、各入居者の状況に応じた親切・丁寧な説明を行いました。



## 6. 入居者の募集

借上型区民住宅の募集は、区が管理する区民住宅と合わせて年2回行いました。入居者との契約形態は2年間の定期借家契約となり、募集時期に借上期限まで2年未満となる住宅については、空き住戸が発生しても募集はしません。

平成 29 年 6 月 募 集	SHフラット	2室（11月に2室入居）
〃 9月募集	テルセーロ三鈴	2室（応募なし）

### [評価等]

#### 1. 建物の管理

住宅の年数経過により、建物、各設備の経年劣化が見受けられます。入居者の生活環境を維持するうえでも、設備不具合により入居者に怪我などないよう住宅所有者、建物管理会社と協力し、引き続き建物維持管理に努めます。

#### 2. 居住者への支援と住宅所有者への引き継ぎ

(1) 居住者には、区の助成制度により、引き続き支援します。

◎転出者＝住替支援助成金50万円の支給

◎居住継続者＝入居者負担額の急激な上昇を10年間10%ずつに緩和する負担軽減措置による家賃助成（次頁参照）

(2) 住宅所有者には、管理運営事務を円滑に引き継げるように区と連携しながら準備を進めていきます。



### 3. 家賃助成

借上契約の期間満了後も住宅所有者等との間で新たな賃貸借契約を締結し、同じ住戸に引き続き居住する場合に、家賃助成を支給し、家賃負担額の急激な上昇を防ぎながら居住を支援するものです。

対象世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>借上契約期間中から借上型区民住宅に居住していた世帯である。</li> <li>借上契約の期間満了後も住宅所有者等との間で新たな賃貸借契約を締結し、同じ住戸に引き続き居住する。</li> </ul>
助成額	<ul style="list-style-type: none"> <li>借上契約終了から1年間の助成額（月額） ＝新たな契約家賃－借上契約の期間満了時点の入居者負担額</li> <li>借上契約終了から2年目以降の助成額（月額） ＝新たな契約家賃－（前年同月の入居者負担額×1.1）</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成額は、原則、借上契約期間中の家賃減額補助額を上限とし、100円未満切捨てとする。</li> <li>助成期間は借上契約の期間満了から最長10年間であり、助成が月額1万円未満となった場合は、当該年度で助成終了とする。</li> </ul>
助成申請	<p>以下の書類を千代田区住宅課に提出する。</p> <p>(1)家賃助成申請書（区指定様式）</p> <p>(2)住宅所有者等との間で新たに締結した賃貸借契約書（コピー）</p> <p>(3)助成金振込口座指定書（区指定様式）</p>

#### ■家賃助成額の例（月額）

借上契約期間満了時の入居者負担額 10万円、新たな契約家賃 20万円の場合

借上契約 満了後	契約家賃 A	(実質的な)入居者負担額 B	家賃助成額 C=A-B
1年目	200,000円	100,000円	100,000円
2年目	200,000円	110,000円	90,000円
3年目	200,000円	121,000円	79,000円
4年目	200,000円	133,100円	66,900円
5年目	200,000円	146,400円	53,600円
6年目	200,000円	161,000円	39,000円
7年目	200,000円	177,100円	22,900円
8年目	200,000円	194,800円	5,200円
9年目	200,000円	200,000円	—
10年目	200,000円	200,000円	—

# 産業まちづくり

## ～地域産業の振興に向けて～

「働く」をテーマに、企業を活性化し地域社会との良好な関係作りのお手伝いをします

産業まちづくり	
I 中小企業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 経営支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>a) マネジメント・サポートデスクの実施 P34</li> <li>b) 専門家派遣等によるサポート P37</li> <li>c) 会議室の提供 P39</li> <li>d) ビジネス法律相談 P40</li> <li>e) 中小ビルマネジメント支援小冊子の発行(新規) P41</li> <li>f) 産業まちづくり事業検討会の設置(新規) P43</li> </ul> </li> <li>2 活性化成長支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 千代田ビジネス大賞の実施(拡充) P44</li> <li>b) インキュベーション施設活動支援 P47</li> <li>c) 千代田区商工団体連携強化連絡協議会への参加 P48</li> <li>d) 地場産業活性化支援 P49</li> </ul> </li> </ul>
II 起業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>a) ビジネス起業塾の開催(拡充) P50</li> </ul>
III 地方との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>a) 市町村サテライトオフィス東京の運営 P53</li> <li>b) 地方における市民まちづくり活動の支援(新規) P54</li> <li>c) まちづくり会社等の地方の団体との交流連携方策の検討(新規) P55</li> <li>d) ちよだフードバレーネットワークの連携調整 P56</li> </ul>

## I 中小企業支援

### 1 経営支援

#### a) マネジメント・サポートデスクの実施

##### □事業内容

中小企業が抱える経営上の様々な相談を、窓口・電話・電子メールなどで受付、その相談内容に応じて、公的機関の実施している助成制度や補助金などの支援策を紹介・活用するなど、経営課題の解決に向けたサポートを実施します。

##### □事業規模

項目	予定回数	第5期実績	達成率
相談	40回	89回	222.5%
イベント等の参加	15回	15回	100.0%

[決算額] 0円（当初予算 539千円）

#### [第5期実施状況]

年間予定回数を上回る相談回数です。特定創業支援事業に係る助成制度、専門家派遣補助事業や今後の事業展開に対する支援など幅広い相談がありました。

- ・特定創業支援事業に係る助成制度 17回
- ・法律についての相談（ビジネス法律相談斡旋） 15回
- ・専門家派遣補助事業 13回
- ・日本政策金融公庫や区内金融機関の融資の相談 11回
- ・（公財）東京都中小企業振興公社の助成制度 6回
- ・ビジネス起業塾 5回
- ・ビジネス大賞への応募方法と申請書の書き方 4回
- ・今後の事業展開に対する支援依頼 4回
- ・プラットフォームスクウェア入居相談
- ・国の補助金制度
- ・開業準備・会社設立
- ・起業について等 多数の相談がありました。

相談については、内容に関わらず産業まちづくりグループが1次対応を行っています。また、相談内容が所管事業でない場合には、産業まちづくりグループから支援団体や区の所管課に対して、相談内容を事前に説明した上で、相談者をご案内しています。このようにスムーズに対応できる体制・連携を構築しています。

◆主な相談内容	◆対応
登録免許税の減免を受けたい。	特定創業支援事業にかかる助成制度を説明。
特定創業支援を受けたい。	相談者が緊急の支援を希望していたため、区のワンストップ相談窓口を紹介。
融資を受けたい。	区の商工融資係、協力金融機関と連携し、融資の斡旋から実行までのサポートを実施。
専門家派遣補助事業の手続きを知りたい。	助成金支出までの流れ及び必要書類について説明。
起業のための勉強をしたい。	ビジネス起業塾のカリキュラム等の説明をした結果、受講を希望したため、申込受付。
経営上の法務について相談したい。	相談内容を確認し、ビジネス法律相談が利用できる旨を伝えた結果、希望したため法律相談を実施。
プラットフォームスクウェアに入居したい。	プラットフォームサービス(株)に空き状況等を確認し、入居手続きの流れを説明。

イベント等への参加については、年間予定回数の15回参加しました。主な参加イベントは、(地独)産業技術研究センター主催の「INNOVESTA」、(公財)東京都中小企業振興公社の助成金等説明会、経済産業省関東経済産業局の創業補助金支援機関説明会、産業交流展です。

#### [評価等]

中小企業者に対して(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センターの助成制度等の情報提供を行いました。第5期は、支援した2社が(公財)東京都中小企業振興公社の「事業可能性評価事業」に採択されました。

起業についての支援は、特定創業支援事業の紹介を17件行い、融資の相談対応を11件、インキュベーション施設の紹介を3件行いました。

特定創業支援事業については、平成 33 年までの延長が決定したためか、7 件増加しました。今後も特定創業支援事業の問合せの増加が予想されるため、起業塾や区のワンストップ相談窓口へ案内し、利用者を増やしていきます。中小企業者については、引き続き助成制度や支援事業を紹介していきます。

イベント等への参加については、毎年実施している「INNOVESTA」や公社助成金等説明会に参加して支援機関からの情報を収集するとともに、ビジネス大賞表彰企業等が出展するイベントを取材し、表彰企業の PR に努めていきます。

今期の予算未執行は、「中小ビルマネジメント小冊子」の広報と周知にかかる費用を本事業費から支出する予定でしたが、その発行部数等の変更があり、印刷製本にかかる費用が低減したため、中小ビルマネジメント支援小冊子事業費内で執行したことによるものです。



## b) 専門家派遣等によるサポート

### □事業内容

(公財) 東京都中小企業振興公社が実施する専門家派遣及び(地独) 東京都立産業技術センターが実施する実地技術支援を受けた企業に、その利用料金の一部を助成します。これにより、各機関の支援制度の活用を促進し、企業の負担の軽減を図ります。企業がそれぞれの機関から派遣される専門家のアドバイスを受やすくすることで、企業の抱える経営上の課題や技術的な課題の解決を図ります。

### □事業規模

項目	予定回数	第5期実績	達成率
専門家派遣	25社/200回	19社/147回	76.0%/73.5%
実地技術支援	3社/ 30回	1社/ 20回	33.3%/66.6%

[決算額] 1,651,475 円 (当初予算 2,305 千円)

### [第5期実施状況]

専門家派遣については、19社から申請があり、実地技術支援については、1社から申請がありました。

#### 専門家派遣の主な支援内容

- ・売上向上・改善を目的とした会社案内の充実・強化支援
- ・マーケティング及びブランディング支援
- ・就業規則、就業時間の見直し及び賃金体系の支援
- ・経営革新計画・事業プランについての支援
- ・販路開拓計画の実行に関する支援
- ・IT利活用による生産性向上に向けた支援
- ・社員の健康管理制度の導入支援

#### 実地技術支援の主な支援内容

- ・ラバトリー金物の開発にあたりマーケティング及びブランディング支援
- ・商品企画から開発までのフォロー
- ・デザインと加工の支援

[評価等]

専門家派遣については、予定数より6社少ない19社から申請がありました。予定数に到達しなかった原因として、（公財）東京都中小企業振興公社の専門家派遣事業への応募が大変多く、11月上旬に予算を消化し、募集を中止したため、区内中小企業者が専門家派遣事業へ応募できなかったことが要因と思われます。

第6期も引き続き（公財）東京都中小企業振興公社と連携し、専門家派遣事業の採択時に、まちみらい千代田の助成金制度をご案内していただくとともに専門家派遣事業の採択予定件数に達するのが年々早まっているので、早期の応募を促していきます。また、第6期も今期と同様の状況が考えられるため、第5期の実績と（公財）東京都中小企業振興公社の新年度の予算を基に予定回数を下方修正します。

実地技術支援については、1社から申請がありました。マネジメント・サポートデスクへの問い合わせでは、実地技術支援事業自体を知らなかった中小企業者が一定数おり、制度説明等のご案内を行いました。第6期以降はビジネス大賞エントリー企業等に対して、必要に応じて実地技術支援事業をご案内し、利用促進に努めていきます。





### c) 会議室の提供

#### □事業内容

用途に応じた広さの会議室や打合せ場所の少ない中小企業の実態から、ちよだプラットフォームスクウェア 4 階・5 階の会議室を、区内中小企業等に廉価で貸し出し、企業活動を補助・支援します。

#### □事業規模

予定時間数	第5期実績	達成率
21,000 時間	16,985 時間	80.9%

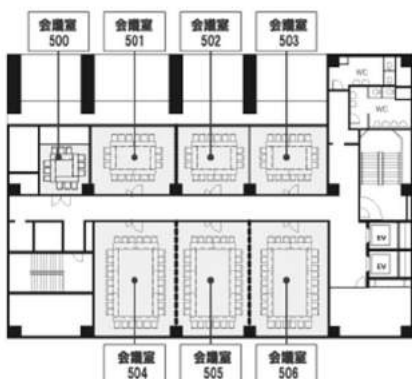
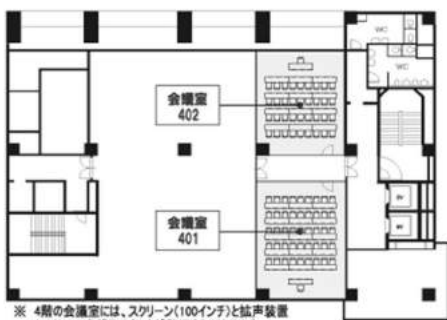
[決算額]30,284,120 円（当初予算 31,067 千円）

#### [第5期実施状況]

第5期では、10月4日～11月26日までの間、大規模な空調工事を実施し、貸出しを中止したため、前年対比では大幅に低い稼働実績となりました。

#### [評価等]

運営委託会社に対し、利用者の意向把握を依頼し、その結果を踏まえた運営を進めていきます。



#### d) ビジネス法律相談

##### □事業内容

自社内に法務担当を置くことが困難な中小企業において、契約や労務など事業活動中に発生する様々な法的対応が必要な事例に対して、的確な対応ができるよう弁護士によるアドバイスを受けられる事業です。(予約制)

##### □事業規模

予定回数	第5期実績	達成率
15回	15回(11社)	100.0%

[決算額] 285,000円(当初予算 287千円)

##### [第5期実施状況]

第4期に引き続き随時受付を行い、また利用者が希望する時間帯での相談を行っていました。第5期は予定回数の15回(11社)の相談がありました。

主な相談として、契約に関する相談、債権債務に関する相談、個人情報の取り扱いに関する相談、就業規則に関する相談などがありました。

##### [評価等]

第5期は、中小企業者からのビジネス相談に関する問い合わせが増加し、相談内容に応じてビジネス法律相談や区の無料経営相談をご案内する等の対応をしました。また、区の無料経営相談のチラシが刷新され、ビジネス法律相談について紹介されたことも、実績増加につながった一因と考えています。

第6期以降も区と連携しながら、ビジネス法律相談の周知に努め、利用者の増加に努めます。



### e) 中小ビルマネジメント支援小冊子の発行(新規)

#### □事業内容

千代田区の地場産業とも言われる中小ビル経営ですが、ビルオーナーの中には経営者としての意識が必ずしも十分でなく、経営に関する諸問題に適切に対処できていない事例も散見されます。そこで、このようなビルオーナーに向けて小冊子による情報提供を行い、適切な中小ビルマネジメントに向けて経営を支援していきます。

#### □事業規模

項目	発行部数	第5期実績	達成率
小冊子	5,000部	1,000部	20.0%

[決算額] 798,120円(当初予算 1,057千円)

#### [第5期実施状況]

中小ビルマネジメント小冊子については、産業まちづくり事業検討会において、有識者の意見を基に内容等を検討し、作成しました。

#### <小冊子構成>

◆発行部数	小冊子 1,000部
◆規格	A5判 4色刷 16ページ
◆小冊子タイトル	中小ビルマネジメント小冊子
◆主な内容①	ビルメンテナンスは、適時、適切に行いましょう！
②	どうしよう！空室が埋まらない。
③	安定した賃料収入を維持して借入返済と修繕積立ができるといいなあ！
④	大型の修繕工事は計画的に

#### [評価等]

安定した中小ビル経営をするために必要な内容を4つのテーマに分けて紹介する冊子を作成しました。各テーマに関する事例をマンガで紹介し、必要な知識や考え方をチェックポイントとしてまとめました。中小ビルマネジメント小冊子は、まちみらい千代田や区で配布しています。また、小冊子の発行部数について、冊子内で紹介している区の制度の一部が年度ごとに変わる可能性があるため、1,000部に調整しました。

今後、小冊子の内容及び中小ビル経営に関する問い合わせや相談が寄せられた場合は、内容に応じて支援団体等への橋渡しを行います。なお、小冊子の発行が完了したため、第6期は事業を廃止とします。



まちみらい  
千代田

# 中小ビルマネジメント小冊子

中小ビルマネジメント小冊子とは

公益財団法人まちみらい千代田では、経営上の悩みを抱える中小貸しビルオーナーを対象に、経営知識の啓発を行うことを目的に、過去の千代田区での相談事例を基にした小冊子を作成しました。具体的なサポートとして、法的な相談は、まちみらい千代田のビジネス法律相談で対応し、経営に関する相談は、千代田区商工観光課の経営相談で対応し、中小貸しビルオーナーへの経営支援を行います。

問合せ先 公益財団法人まちみらい千代田 産業まちづくりグループ  
**03-3233-7558**

発行 公益財団法人まちみらい千代田 制作 一般社団法人ちよだ中小企業経営支援協会

f) 産業まちづくり事業検討会の設置(新規)

□事業内容

前期において有識者等からなる「産業まちづくり事業検討会」を開催し、事業の見直しや新たな事業化を検討しました。この検討会を常設化し、産業まちづくりの事業の進捗状況の確認を行うと共に、事業への提言、意見をいただき事業へ反映していきます。

□事業規模

予定回数	第5期実績	達成率
1回	3回	300.0%

[決算額] 31,069円 (当初予算 94千円)

[第5期実施状況]

第5期の産業まちづくり事業検討会では、産業まちづくり事業の進捗状況の確認のほか、中小ビルマネジメント小冊子の内容について、検討しました。第5期は3回開催しました。

◆開催日	◆会議名	◆議題
8月2日(水)	第1回産業まちづくり事業検討会	・中小ビルマネジメント小冊子作成に関する検討
10月13日(金)	第2回産業まちづくり事業検討会	・中小ビルマネジメント小冊子案について ・産業まちづくり事業の進捗状況について
11月30日(木)	第3回産業まちづくり事業検討会	・中小ビルマネジメント小冊子案について

[評価等]

産業まちづくり事業検討会では、区の商工振興施策の一翼を担う、まちみらい千代田の今後の事業内容について検討を進めてきました。第5期では、提言を参考に事業の見直しや新たな事業に取り組み、一定の評価を得ました。なお、第4期報告書に盛り込まれた各提案の実行状況の検証を終えたため、第6期からは、事業としては廃止します。

## 2 活性化成長支援

### a) 千代田ビジネス大賞の実施(拡充)

#### □事業内容

中小企業の成長発展を支援する一環として、経営革新や経営基盤の強化に取り組んでいる中小企業や他の企業の模範となる優れた中小企業を「千代田ビジネス大賞」で表彰します。これは、当該企業のさらなる発展のきっかけづくりを目的としています。今期は第10回の「千代田ビジネス大賞」を開催いたします。また、第10回目の開催を節目として、表彰式会場の変更やロゴの作成、新たな賞の設置等を行います。

#### □事業規模

応募予定社数	第5期実績	達成率
30社	30社	100.0%

[決算額] 6,477,081円(当初予算 8,094千円)

#### [第5期実施状況]

##### 主な事業実施状況

- ・平成29年 7月20日 エントリー募集開始
- ・平成29年 9月29日 エントリー募集締切
- ・平成29年 10月~12月 現地調査  
(エントリー企業への訪問、ヒアリング調査)
- ・平成30年 1月 8日 審査会
- ・平成30年 1月24日 諮問委員会、表彰企業決定
- ・平成30年 2月14日 表彰式(如水会館)
- ・平成30年 4月~6月 フォローアップ訪問相談

##### 実績

エントリー総数	30社
二次審査(現地調査)数	30社
表彰式出席企業数	29社

##### 表彰企業(全11社)

大賞	東京スクリーン株式会社
千代田区長賞	株式会社豊島屋本店

東京商工会議所千代田支部会長賞	株式会社ハセツパー技研
東京中小企業家同友会千代田支部長賞	株式会社けいしんかい
優秀賞	株式会社パイロットン
特別賞	株式会社ゼロユニット
	なでしこ TOKYO 株式会社
諮問委員会賞	水谷電機工業株式会社
	株式会社トキワ
	株式会社アイランド東京
	株式会社ビジネス・フォーラム事務局

### 周年記念事業実施状況

- ・ロゴマークの制定



- ・レリーフの設置



### [評価等]

第5期は、30社の応募を得ることができました。支援団体への働きかけや

展示会場等において中小企業者に周知活動を行いました。

住宅サービス業、製造業、卸売業、運輸業、サービス業、小売業、職業紹介業・人材派遣業、IT サービス・ソフトウェア開発業、ステンレス金網製品加工業、不動産仲介業、留学生支援業、セキュリティ機器販売・施工業、IT・ゲームコンテンツ制作受託・オリジナルコンテンツ制作業・食料品企画・卸売業等、多岐にわたる業界より応募いただきました。

また、第10回開催の記念事業として、ロゴマークとレリーフを作成しました。ロゴマークは、過去の表彰企業を含め、現在14社が使用しています。主な使用例として、HP、名刺、SNSで使用したという報告がありました。

今回の表彰式では、支援機関関係者や歴代表彰企業社長の皆さまにご出席いただいたほか、まちみらい千代田評議員、理事、賛助会員の皆さまにもご出席いただきました。

第6期以降も、エントリー企業数30社を目指し、ビジネス大賞事業を周知します。また、過去の表彰企業やエントリー企業が出展する展示会やイベント取材し、今後のビジネス大賞事業への参加を促します。なお、表彰式終了時刻遅延については、表彰式のタイムスケジュール管理や各ノミネート企業のスピーチ時間管理を徹底することで改善を図ります。

### 表彰式の様子



### 表彰式集合写真





## b) インキュベーション施設活動支援

### □事業内容

ちよだプラットフォームスクウェアの活用事業であるプラットフォームサービス株式会社をはじめ、千代田区内のインキュベーション施設(SOHO事業者・ベンチャー企業の支援施設)を運営する事業者の定期的な情報交換の場として「インキュベーション施設連絡協議会」を設け、相互の連携を深めていきます。

### □事業規模

協議会予定回数	第5期実績	達成率
1回	1回	100.0%

[決算額] 216,313円(当初予算 67千円)

### [第5期実施状況]

第5期の協議会は、5月18日に実施しました。協議会の他にインキュベーション施設に関する問い合わせは、冊子「施設案内」で情報展開するとともに、必要に応じてインキュベーション施設を紹介するなどの橋渡しを行いました。現在協議会メンバーは8施設です。

#### \*参加団体(施設)名

ちよだプラットフォームスクウェア	一番町インキュベーションセンター
クリエイターズオフィス イブリッジ	ベンチャーKANDA(募集終了)
ナレッジソサエティ	四ツ谷レンタルオフィス
アイオス永田町	EDITORY 神保町

### [評価等]

第5期は、協議会で第6期実施予定の新事業「出張講座」について、各インキュベーション施設担当者と調整しました。また、ちよだプラットフォームスクウェアやクリエイターズオフィスイブリッジにインキュベーション施設入居希望者を案内しました。

第6期以降も引き続き協議会を定期的を開催することで、相互の連携を一層深めていきます。また、千代田区内には多数のレンタルオフィスが存在しています。その中からインキュベーション機能を持った施設に対して、協議会への参加を促し、メンバーの拡大に努めていきます。

### c) 千代田区商工団体連携強化連絡協議会への参加

#### □事業内容

千代田区商工団体連携強化連絡協議会への参加と開催場所の提供、開催通知の発送及び分担金の支払いを実施します。協議会では、情報交換に加え、情報発信の一元化を目的とする「千代田区商工団体イベントナビ」の安定した運用に向けて、協議会を実施し、更なる充実に向けて協議を重ねます。

#### □事業規模

協議会予定回数	第5期実績	達成率
1回	2回	200.0%

[決算額] 7,564 円 (当初予算 177 千円)

#### [第5期実施状況]

第5期は、12月と3月に開催しました。

#### [評価等]

第5期は、「千代田区商工団体イベントナビ」の今後に向けて協議を行いました。「千代田区商工団体イベントナビ」は、開発事業者が引き取り、運用を続けていき、協議会メンバーは必要に応じて、情報提供していくことになりました。

第6期以降は、従前より区で同様の会議体があり重複していたことなどから、本協議会を廃止します。



#### d) 地場産業活性化支援

##### □事業内容

千代田区の地場産業である印刷関連産業の再生をめざして、まちみらい千代田と株式会社千代田印刷会館及びプラットフォームサービス株式会社の三者の協力により、まちみらい千代田が千代田印刷会館よりフロアを借受け、それをプラットフォームサービスに転貸することで保証金を無くし、また、リニューアルをまちみらい千代田が行い、その費用をプラットフォームサービスが長期分割返済する方式を採用することで、運営主体となるプラットフォームサービスのイニシャルコストを軽減し実現したものです。

この施設には、千代田区の地場産業である印刷関連産業が集積するインキュベーション施設として、印刷関連企業、メディア・映像・コンテンツ企業・情報関連企業を中心に入居しています。

##### □事業規模

実施場所	第5期実績	達成率
3フロア (5階、6階、7階)	3フロア (5階、6階、7階)	100.0%

[決算額] 14,655,168 円 (当初予算 14,666 千円)

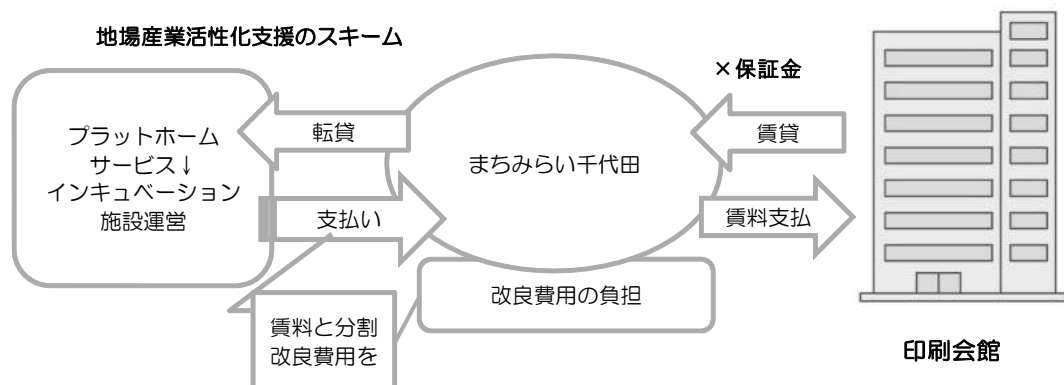
##### [第5期実績]

計画通り実施しています。

\* 5月末現在の入居状況 17社/18社 (空室1)

##### [評価等]

これまで通り進めていきます。運営会社に空室解消を促します。



## Ⅱ 起業支援

### a) ビジネス起業塾の開催（拡充）

#### □事業内容

経済社会の新陳代謝、経済への活力、新たな雇用の創出などが期待される起業を促進するため、起業を目指し、あるいは起業後間もない事業者などが、起業に際して必要な知識を取得し、スムーズに起業できることを目的とした講座を実施します。

女性を対象とした「女性起業家編」と、対象を限定しない「一般起業家編」、女性のニーズの多い業種の起業に特化した「業種特化編」の3コースに分けて実施します。

修了者に対しては、起業・事業展開につながるサポートとして、中小企業診断士による起業相談や、修了者や起業者が情報交換できる交流会を実施すると共に、新たに千代田区内で起業した修了者に対しては、創業資金の一部を補助します。また、継続的に起業後のフォローアップ相談も実施します。

#### □事業規模

1コース全9コマ 定員20名の講義を1セットとして実施し、全3コース実施します。

専門講座は全3コマを2コースと全4コマを1コース実施します。

講座名	予定コース数	第5期実績	達成率
女性起業家編	1コース	1コース	100.0%
一般起業家編	1コース	1コース	100.0%
業種特化編	1コース	1コース	100.0%
専門講座	3コース	3コース	100.0%

[決算額] 3,204,036 円（当初予算 4,894 千円）

[第5期実施状況]

**ビジネス起業塾事業実施状況**

講座名	実施回数	実施期間	受講者数
女性起業家編	全9回	6月 1日～7月27日	20名
一般起業家編	全9回	8月23日～10月18日	20名
業種特化編	全9回	10月19日～12月21日	20名
専門講座(財務)	全3回	2月 1日～2月22日	5名
専門講座(マーケ)	全4回	3月15日～4月26日	10名
専門講座(事業計画)	全3回	4月19日～5月26日	4名

**千代田ビジネス起業塾修了生交流会事業実施状況**

- ・参加者数 28名（修了生のみ）
- ・実施日 平成30年2月21日
- ・実施時間 18時45分～20時55分
- ・会場 ちよだプラットフォームスクウェア5階等
- ・実施内容
  - 第1部 パネルディスカッション「起業とは」  
修了生起業家がパネラーとなり、起業に関する実体験を紹介
  - 第2部 損をしないために、知って得する支援団体からの支援制度  
支援メニューの紹介
  - 第3部 懇親会
- ・支援団体 千代田区、東京商工会議所千代田支部、日本政策金融公庫  
(公財)東京都中小企業振興公社、興産信用金庫、毎日新聞

**千代田ビジネス起業塾修了者起業支援補助金事業実施状況**

- ・ビジネス起業塾修了者起業支援補助金交付要綱の制定
- ・補助金利用件数 1件

**千代田ビジネス起業塾修了生フォローアップ相談事業実施状況**

- ・千代田ビジネス起業塾修了生フォローアップ相談実施要綱の制定
- ・修了生フォローアップ相談利用回数 2回

[評価等]

## **ビジネス起業塾**

特定創業支援事業の認定の対象となった修了生は、女性起業家編 16 名、一般起業家編 15 名、業種特化編 16 名の合計 47 名でした。

また、各コースの特徴は以下のような内容となりました。

女性起業家編では、50 代が6割を占めシニア層が多数受講しました。託児利用者は1名でした。

一般起業家編は、男女比が同数で30代から50代までバランスのとれた構成でした。会社員が大半でしたが、会社役員、学生の参加もありました。託児利用者は1名でした。

業種特化編（販売・サービス業）は、男女比が3:7で30代から50代までの構成でした。託児利用者は2名でした。職業は、会社員が中心でしたが、3コースの中で子育て中の方々が最も多く参加したコースでした。

受講後の受講者アンケートでは、「漠然と考えていた起業だが、このセミナーを受講したことで、やる気になった」「あっという間の2ヶ月でした。どの回も勉強になる話ばかりでした」「今後も関連したテーマの講座を開催していただけるとのことでモチベーションを保ちながら実行していきたいと思った」「決算等が重ならない開催時期を検討してほしい」等、たくさんの意見をいただきました。

専門講座は、上記の3コースと比較すると受講者数が少なく、第6期以降は、周知方法やコース設定を見直し、修了生の参加を促します。

## **ビジネス起業塾修了生交流会**

交流会実施にあたっては、平成22年～平成29年度修了生にチラシ等で周知し、28名が交流会に参加しました。交流会参加者からは、「修了生同士で情報交換ができたので、有意義に過ごせました」「リアルな女性起業家の体験をもっと聞きたい」「修了生向けの講座をやってほしい」「現実に起業された方のご苦労を聞かせていただけることは、とても貴重だと思う」等、たくさんの意見をいただきました。

## **千代田ビジネス起業塾修了者起業支援補助金事業実施状況**

第6期以降も引き続き、修了生に周知をし、利用者の増加を目指します。

## **千代田ビジネス起業塾修了生フォローアップ相談事業実施状況**

第6期以降も引き続き、修了生に周知をし、利用者の増加を目指します。

### Ⅲ 地方との連携

#### a) 市町村サテライトオフィス東京の運営

##### □事業内容

プラットフォームスクウェア内にスペースを設け、単独では東京に拠点を設けるのが困難な地方の市町村等の活動拠点を安価に設置できるようにしています。また、各地方間の連携を図るため、利用団体間の情報交換や地域活性化のための勉強会を開催します。

##### □事業規模

項目	予定団体数	第5期実績	達成率
利用団体	18 団体	9 団体	50.0%

[決算額] 1,242,351 円 (当初予算 1,460 千円)

##### [第5期実施状況]

9月27日にフードバレーネットワーク年次総会を兼ねて、市町村サテライトオフィス東京の勉強会を開催し、利用団体である島根県海士町町長から「ふるさと再興への挑戦」というテーマで講演をいただきました。3月22日の勉強会では、(株)釜石プラットフォーム代表取締役から「釜石プラットフォームの軌跡」というテーマで講演いただきました。

11月に石川県・福井県の人口10万人未満の市町村を対象にパンフレットなどを送付し、利用促進を図りました。

12月には、香川県丸亀市から新規利用の申し込みがありました。これは、すでに利用している静岡県西伊豆町と同市が、内閣府の地方創生推進交付金を活用し、地域商社事業を立ち上げたことがきっかけで、利用につながりました。

2月に利用団体に今後の運営の参考とするためのアンケートを実施しました。

##### [評価等]

利用登録をしながらも利用実績のない1団体の退出がありましたが、ニーズがある自治体に情報が到達していないと考えられるため、今後も継続してエリアを決めて定期的にパンフレットなどの利用案内資料を送付し、PR活動を継続します。

利用団体は、まちみらい千代田に対して、広報支援を望んでいることから、第5期で制作した利用団体を紹介するウェブサイトを活用します。同ウェブサイトを利用特典の1つとすることで、新たな利用団体の獲得につなげます。

## b) 地方における市民まちづくり活動の支援（新規）

### □事業内容

地方において、自発的なまちづくりによる地域おこしを行う行政や団体に対して事務的な手法などの情報提供を行い、千代田区との地域連携を図ります。

### □事業規模

項目	予定団体数	第5期実績	達成率
情報提供先	1 自治体・団体	1 団体	100.0%

[決算額] 140,140 円（当初予算 337 千円）

### [第5期実施状況]

公益財団法人福武財団（香川県直島町）は、芸術による地域振興の助成事業を行っており、新規に古家活用などの助成を計画しているとの情報を得ました。

その事業の審査過程で公開審査方式の導入が検討されたため、千代田まちづくりサポート公開審査会のノウハウを提供しました。

### [評価等]

公益財団法人福武財団については、ヒヤリング内容をもとに事業変更認定の申請を内閣府に行い、それが承認されたことにより、本事業の一定の成果が見られました。しかし、ほかの地域へのヒヤリングだけでは、地方だけでの事業の立ち上げは難易度が高く、まちみらい千代田が事業自体に関わらないと事業が成立しない状況と判断しました。

今後は、千代田まちづくりサポート事業の中で地方出身者などの連携が図れる活動を促進するとともに、各事業で得られた人的ネットワークを通じ、地方自治体や団体への情報提供を行います。



c) まちづくり会社等の地方の団体との交流連携方策の検討（新規）

□事業内容

地方とは、フードバレーネットワークを通じて食と農を中心とした連携を行い、様々な支援を行っていますが、それ以外の産業への支援については、対象として扱いにくくなっているため、地域の産業を振興するようなまちづくり会社との交流を深め、千代田区の資源や人材を活用した支援の方策を検討します。

□事業規模

項目	予定件数	第5期実績	達成率
訪問調査	2自治体・団体	1団体	50.0%
委託調査	1件	0件	0.0%

[決算額] 72,910円（当初予算 1,509千円）

[第5期実施状況]

活動が活発で自立していると想定される福島県会津若松市のまちづくり会社「株式会社まちづくり会津」へのヒヤリングを実施しました。

地域交流ステーションの運営や中心市街地の賑わいの再生を目的とした空き店舗へ、生活者支援や交流機能のある店舗を誘致する事業などを実施しました。継続して連絡をとり、ヒヤリングを行うことで交流連携の方策を検討します。

3月に「都城まちづくり株式会社」への訪問調査を行う予定でしたが、同社は新規事業立ち上げの関係と人材不足の影響で多忙のため、訪問を断念しました。

[評価等]

当初、委託調査を予定していましたが、実際にヒヤリングを実施した結果、情報が得られたため実施しませんでした。ヒヤリングについては1団体の訪問に留まったこともあり、具体的な連携をするなどの成果をあげることができませんでした。第6期においても、訪問調査を継続し、千代田区の資源や人材を活用した支援の方策を検討します。

#### d) ちよだフードバレーネットワークの連携調整

##### □事業内容

千代田区が持つ集客力、情報発信力を活かして、「場」の提供を求める地方都市との交流を深める考えから、千代田区商工振興基本計画の中で「農商工連携による地方都市との交流促進」をうたっています。本年改定された千代田区商工振興基本計画の内容を踏まえ、区及び関係団体と連携し、生産地と消費地が協力し合い、互いの地域産業振興を図ることを目的に、ちよだフードバレーネットワークの取り組みが効果的に推進できるよう調整を図ります。

##### □事業規模

イベント予定回数	第5期実績	達成率
4~5回	7回	140.0~175.0%

[決算額] 511,820円（当初予算 1,712千円）

##### [第5期実施状況]

- (1) ちよだフードバレーネットワーク通常総会及び勉強会の実施(9月27日)
- ・平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画を会員へ報告
  - ・島根県海士町町長の講演「ふるさと再興への挑戦」

##### (2) 区民参加型グリーンツーリズムの実施

(※千代田区民がちよだフードバレーネットワーク加盟の自治体や地域で農業体験するためのツアー)

- ・茨城県守谷市で夏野菜収穫体験(8月27日、14名参加)
  - ・長野県東御市でワイン用ぶどうの収穫体験(10月22日、15名参加)
- ※35名の参加予定でしたが、台風の影響で15名の参加となりました。

##### (3) 東京味わいフェスタ2017へ出店(10月6日~8日)

- ・有楽町エリアに亘理のいちご復興連携協議会が出店  
(亘理産いちごのジェラートの販売)

##### (4) オータムマルシェの開催(11月24日~26日)

出店自治体・団体(17自治体)

地方で育まれる“これぞ本物”という野菜や果物、加工品の販売し、17

自治体が地方物産のPRを行いました。

(5) 大槌復興支援マルシェ、スプリングマルシェの開催（3月22日～25日）  
新巻き鮭発祥の地である大槌町の復興支援を目的に「大槌復興支援マルシェ（大槌町内の10店舗）」、そして、地方との農商工連携促進を目的に「スプリングマルシェ（17自治体）」を開催しました。

(6) ちよだフードバレーネットワーク勉強会の実施（3月22日）  
・(株)釜石プラットフォーム代表取締役の講演「釜石プラットフォームの軌跡」  
・釜石復興支援感謝の集い

(7) ちよだいちばへの支援  
・麴町エリアのイベントへ出店（PR活動）  
アマルフィフェスタ（6月3日）で、地方の野菜や加工品を販売を実施しました。  
ハロウィン&ミニトレイン@番町の庭（10月29日）で、地方の加工品の販売を計画しましたが、雨天のためイベント自体が中止となりました。

・ちよだいちばの売り場（棚）代の一部を補助  
月額利用料16万円を千代田区が8万円、まちみらい千代田が4万円を補助 ※サブ利用（30品程度）の場合は半額

○利用自治体・団体・地域

6月（静岡県西伊豆町）7月（長野県東御市）

8月（群馬県沼田市/山梨県富士見町）9月（島根県邑南町）

10月（愛媛県西予市/遊子川）11月（千葉県南房総市）

12月（愛媛県大洲市）1月（栃木県白河市大信地域）

2月（山口県下関市）3月（北海道稚内市/鹿児島県枕崎市/岩手県大槌町）

4月（山形県新庄市/群馬県神流町）5月（佐賀県佐賀市）

まちみらいニュースイベント情報などを掲載することで、在勤者だけではなく、区民の来店者数増加につながりました。

あなたが、まだ知らない  
地方の食の魅力が発見できる場所  
それが、「ちよだいちば」です。



千代田区神田錦町のオフイス街に、食と農を結ぶアンテナショップ「ちよだいちば」があります。2014年6月にオープンし、まちみらい千代田や千代田区が活動を支援しています。

その「ちよだいちば」について、朝比奈店長に話していただきました。

千代田区在住・在勤の方々と地方生産者が食を通してさまざまな切り口でつながってほしい、地方の人たちに千代田区という名前を覚えてもらい、千代田区の人たちに愛される小さないちばになるう、そんな思いから「ちよだいちば」と名づけました。

取り扱い地域は、北は北海道から南は鹿児島県までの約50市町村で、商品数は100種類以上。いわゆる県単位のアンテナショップでは、なかなか単独では取り上げられる機会のない「ご縁があった市町村」の産品が並びます。

毎週入荷する各地の野菜や人が作る旬のこだわり野菜、一年に一度しか製造できない菓子類や旬の食材で仕込む加工品、生産量などの関係で地元以外では、なかなか販売できない貴重な産品、地元の人だけが知るこだわりの調味料。「ちよだいちば」に並ぶ商品は、「いずれも大量生産は難しいけれど、自分たちが一生懸命作っている地元ならではの味を都会の人たちにも届けたい」という強い思いを持った市町村生産者の希少な産品がほとんどです。

その一つ一つの商品に地域の方々の思いやストーリーがあります。例えば、限界集落のお母さんたちが村を元気に



するために立ち上がり、苦勞を重ねて完成させたトマト酢のぼん酢。信号機が一つもない小さな島で島の人たちのために何度も試作したこだわりのレモンドレッシング。衰退していく一方だった町の酪農を救いたいと公務員が先頭にたって、町民が総力を挙げて作り上げた絶品ミルクジャム。東日本大震災で壊滅状態となった、いちこの生産を見事復活させた団体のいちごジャムやグラノーラ。これらは、ほんの一部です。

「ちよだいちば」では、このように「人」「地域」「ストーリー」を大切にし、すべてスタッフが、そのことをお客様に可能な限り、伝えようとしています。

毎月開催するイベント「月間ご当地まつり」は、一か月の間に1~2市町村を取り上げ、ご紹介しています。一か月間限定で入荷する産品は、多くのお客様から大変ご好評をいただいています。また、産地直送野菜などを使った「地域と畑の見える日替わりランチ」や「食の交流イベント」として、料理教室、郷土料理や酒を楽しむイベントなども毎月開催しています。日本全国には、まだまだ知

そのほか、ちよだフードバレーネットワークが実施する事業として「食農起業塾」を全8回実施しました。

【ちよだフードバレーネットワークの構成】

59自治体・地域（千代田区を含む）+3団体（平成30年5月現在）

[評価等]

各イベントを通じて、出店自治体・団体の物産のアピールができました。引き続き、千代田区と協力し、ちよだフードバレーネットワークの活動を支援します。特にまちみらい千代田では、広報面での支援を強化し、ちよだフードバレーネットワークが開催するイベントについては、ウェブサイトやまちみらいニュースで周知します。

また、イベントや勉強会などの会員が集まる場において、まちみらい千代田が実施する他の事業と連携できることがないか意見を伺うことも継続します。

## 協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりに向けて～

「集う」をテーマに、皆で取組む魅力あるまちづくりのお手伝いをします

### 協働まちづくり

I	まちづくり活動支援	a) 千代田まちづくりサポートの実施	P60
		b) 区の花さくら再生基金の管理	P63
II	情報の発信と交流	a) まちみらいニュースの発行	P65
		b) 事業報告・交流会の実施	P66
		c) まちみらい千代田 ホームページの運用	P67

## I まちづくり活動支援

### a) 千代田まちづくりサポートの実施

#### □事業内容

本事業は、自主的なまちづくり活動を行っている団体に対して、その活動経費の一部を助成するものです。今期も「はじめて部門」「一般部門」「テーマ部門」「普請部門」の4部門で在住・在勤などの枠を超えた多様なまちづくり活動を支援します。助成の公平性とグループ相互の交流を図るため、審査会や活動発表会は全て公開方式で実施します。

#### □事業規模

実施項目	予定月	実施日	達成率
公開審査会	7月	平成29年7月1日	100.0%
中間発表会	11月	平成29年11月19日	
活動成果発表会	4月	平成30年4月22日	

[決算額] 7,421,748円（当初予算 19,682千円）

### [第5期実施状況]

#### （公開審査会）

第4期において募集を行い、応募申請のあった21グループについて、7月1日に公開の場で審査を行い、14グループ（普請部門を含む）に対して助成を決定しました。公開審査会の審査結果・内容などの概要は、千代田まちづくりサポート通信第30号として、発行し、賛助会員・関係者などへ配布しました。

#### （はじめて交流会）

7月14日に協働契約先の一般社団法人千代田まちづくりプラットフォーム（以下、「まちプラ」という。）主催で、はじめて交流会を開催しました。助成決定を受けたグループが、それぞれの活動内容や思い、協力できることなどを紹介し合い、今後の活動に役立つ、交流や連携のきっかけづくりの場となりました。

#### （中間発表会・普請部門二次審査）

発表をパネルディスカッション方式として、助成グループと審査会委員との対話を中心に構成したプログラムとしました。3つのグループに分けて、対話の時間を増やしたことで、各グループの課題の再確認につなげました。

開催後に助成グループにアンケートを行い、発表方式に対して、一定の評価を得ました。今回で2回目の募集となる普請部門では、2つのグループから応募がありました。一次審査を通過した秋葉原に立地する旧旅館の建築物を地域

のコミュニティ拠点として改修する提案をした 1 グループが二次審査に進みましたが、審査基準に関連した内容が一部不明のため、活動成果発表会の場で検討結果の説明をすることになりました。

(活動成果発表会)

各助成グループからの活動成果発表のほか、普請部門二次審査で継続審査となった 1 グループが検討結果の説明を行いました。審査の結果、500 万円を上限とする助成を決定しました。

運営面は、前回に引き続き、助成グループや審査会委員のOBを中心として、この事業のために設立された、まちプラと協働契約を結び、事業運営を行いました。おもに公開審査会などの運営や、助成グループのフォローを中心に対応してもらい、質の高い運営を行うことができました。

<申請グループと助成金額（総額：920 万円）>

部門	回数	団体名	申請額 (万円)	助成額 (万円)
一般	3	東京神田神保町映画祭実行委員会	50	45
	2	文人通りギャラリーカフェ	40	39
	2	神田プロレス	50	45
	2	PCN秋葉原 ASSEMBLAGE	50	49
	2	神田を面白がる会	50	34
	1	一般社団法人神田をワインの街にしようの会	50	42
	1	地域のキーパーソン可視化プロジェクトチーム	50	40
	1	ちよだロケーションサービスをつくる会	50	37
	1	THEATRE CONCIERGE	18	18
	1	一般社団法人協働プラットフォーム	50	28
	1	KANDA MUSEUM	41	23
普請	1	秋葉原・旧旅館【東館】内 ちよだニャンとなるCafé (※二次審査の500万円は、工事検査完了後に支出予定)	10 (一次)	10 (一次)
			500 (二次)	500 (二次)
はじめて	1	ちよとも	5	5
	1	三崎町SMILEプロジェクト	5	5

## ○市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議への参加

・足立区（8月24日）、横浜市（12月22日）

公開審査型の市民活動助成を行っている自治体・団体に構成されている都市ネットワーク会議に参加しました。意見交換・助成グループの紹介・まち歩きを通じて交流を深めました。

### [評価等]

ミュージカル・映像分野から、まちづくり活動に対して、新たな視点でのアプローチがありました。ほかの地域とは異なる、千代田区独自のまちづくり活動の多様性が見受けられました。普請部門で助成を決定したグループが活用する建物は、地域の拠点となりうる建築物でコミュニティ形成の場として期待されます。

来期も引き続き事業を発展させるため、まちプラと協働して事業を進めるとともに、市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議の場での意見などを参考に、より質の高い運営や新たな提案を行います。同事業で得られた人的ネットワークを通じて、地方自治体や団体への情報提供も行います。





## b) 区の花さくら再生基金の管理

### □事業内容

区の花さくらの周知活動や保全活動のための助成金となる基金の管理を行っています。

基金には「公益信託さくら基金」と「金銭信託さくら基金」の2種類があり、公益信託さくら基金は、さくらに関する普及啓発活動などに対してその活動費を助成しています。また、金銭信託さくら基金では、さくらを維持管理している団体に対して、その保全のためにかかる経費の一部を助成しています。

### □事業規模

項目	予定件数	第5期実績	達成率
公益信託	7	6	85.7%
金銭信託	1	1	100.0%
合計	8	7	87.5%

[決算額] 11,506,000 円 (当初予算 5,517 千円)

### [第5期実施状況]

7月25日開催の「さくら基金運営委員会」で平成29年度さくら基金助成について、次ページのとおり決定しました。

また、3月23日開催の「区の花さくら連絡会」では、さくらサポーター活動やさくらの樹勢調査結果について運営委員と情報の共有を図りました。

千鳥ヶ淵緑道の桜のライトアップ期間中には、募金活動にも従事しました。

### [評価等]

千代田さくらサポーター事務局（千代田区環境まちづくり部道路公園課）との連携を図りながら、適正な基金管理を行います。そのために、基金の残高推移や事務処理の進捗状況などについて、定期的に打ち合わせを行い、情報の共有を図ります。

平成 29 年度公益信託さくら基金助成一覧

No.	活動テーマ	申請者	助成金額 (円)
1	自然環境の基礎を理解し、さくら再生作業を行うことで、さくらに対する愛情を育み、継続的な保全を支援してゆく。さくら教室の開催	NPO法人 東京樹木医プロジェクト	500,000
2	さくら再生事業 12 年間の活動記録を、小冊子に編集し、幅広く多くの人に紹介する。さくら遊楽の会の開始	桜を楽しむ会	500,000
3	区の花である「さくら」を基点とした環境問題の重要性及び地域環境に対する啓蒙活動	上智大学公開学習センター	50,000
4	さくら再生の募金活動・千鳥ヶ淵緑道周辺の美化活動	さくら美守り隊	150,000
5	さくらサポーター事務局の運営	さくらサポーター事務局	500,000
6	区の花さくら連絡会の開催	さくらサポーター事務局	350,000
計			2,050,000

平成 29 年度金銭信託さくら基金助成一覧

No.	事業者	申請者	助成金額 (円)
1	区の花さくら再生事業	千代田区長 石川雅己	5,500,000

## Ⅱ 情報の発信と交流

### a) まちみらいニュースの発行

#### □事業内容

まちみらい千代田が実施する事業などについて、千代田区内に広く情報提供するため、「まちみらいニュース」を発行します。今年度も二面構成とし、年12回、毎月20日に「広報千代田」折り込みで発行します。発行部数は、毎号約50,000部です。

なお、紙面の一部を有料広告スペースとして活用し、発行コストの低減に努めます。

#### □事業規模

予定回数	第5期実績	達成率
12回	12回	100.0%

[決算額] 3,088,042円 (当初予算 3,583千円)

#### [第5期実施状況]

読まれる広報紙を目指して、マンション管理士によるコラムや、防災、民泊関連の記事、中小企業診断士による起業に役立つコラムを掲載しました。

また、千代田まちづくりサポート事業で助成を受けたグループのイベントや、ちよだフードバレーネットワークの取り組みの1つでもある「ちよだいちば」のイベント情報を掲載し、区民や区内企業に向けて幅広く情報を発信しました。

#### [評価等]

発行コスト削減のために、有料広告募集を紙面に2回掲載したほか、募集チラシを作成しました。チラシは、賛助会員を中心に配布しましたが、有料広告掲載までには至りませんでした。第6期でも引き続き、賛助会員を中心に掲載メリットを周知し、広告の増加を目指します。

紙面は、見やすさや読みやすさを考慮し、事業ごとにタイトルカラーを決め、ウェブサイトとリンクするようにロゴデザインを変更しました。

今後も、新規・拡充事業やまちみらい千代田が実施するイベントへの関心を高めていただけるように記事を作成し、より多くの区民や区内企業が実施事業に参画・連携・協働できるよう情報発信を行います。

## b) 事業報告・交流会の実施

### □事業内容

まちみらい千代田の賛助会員をはじめ区民や企業等に対して、まちみらい千代田の事業内容・実施状況等の報告を行うとともに意見交換や交流を通して一層の支援をいただくほか、賛助会員の加入促進に努めます。

□実施日 10月26日(木)

□内 容 ・第4期の事業報告 ・第5期の事業計画概要  
・賛助会員等との意見交換 ・賛助会員のPR ・交流会

□会 場 ちよだプラットフォームスクウェア会議室

### □事業規模

予定回数	第5期実績	達成率
1回	1回	100.0%

[決算額] 91,972円 (当初予算 195千円)

### [第5期実施状況]

区内の賛助会員への訪問や前回参加者への直接連絡することで、事業報告会実施の周知を図りました。その結果、前回の14名を上回る20名の参加がありました。ちよだフードバレーネットワーク会長から「食と農で地域を元気に!」と題した講演と企業PRの時間を設けて、異業種交流が図れるきっかけを作りました。終了後の交流会では、賛助会員の皆さんから、まちみらい千代田実施事業に対して意見をいただきました。

### [評価等]

開催周知を徹底した結果、前回は上回る参加となり、実施事業の報告をすることができました。

第6期では、さらに多くの方に参加してもらえるように、ちよだプラットフォームスクウェア周年事業と共同開催し、賛助会員と周年事業に参加する区民や企業が、交流を図れる場を提供します。

### c) まちみらい千代田ホームページの運用

#### □事業内容

公益財団法人まちみらい千代田の公式ホームページとして、まちみらい千代田の公式情報を公開するとともに、まちみらい千代田の事業周知の有効なツールとしてホームページを運用していきます。

地域イベント情報や、まちみらいニュース掲載事項、まちみらい千代田の事業情報など、千代田区・まちみらい千代田に関連する情報を掲載し、新たな活動・生活への手かがりを提供します。

ホームページ利用増加のための導線として、ツイッター・フェイスブックと連携し、多くの方への情報発信を行います。

□実績 主要事業ページへの導線の改善を目的としたバナーの作成→11月実施  
物語りコンテンツの追加→4本作成

#### □事業規模

予定時期	実施時期	達成率
通年	通年	100.0%

[決算額] 1,747,872円 (当初予算 2,260千円)

#### [第5期実施状況]

トップページにある各事業の主要アイコンや参加者を募集する事業へ最短でアクセスするためのバナーの配置位置変更とウェブサイトのデザインを統一するための更新作業を行いました。

まちみらい千代田が実施するセミナーや講座のほか、事業に関連する団体のイベント情報などを周知しました。

また、同様の情報を多くの方が情報収集のために利用しているフェイスブックなどのSNSを活用し、広く発信しました。

#### [評価等]

千代田区に関連する団体からは、まちみらい千代田ウェブサイトに掲載したイベント情報を見ての参加者が増えたとの声も寄せられました。

第6期では、まちみらい千代田ウェブサイトを中心としながらも、直接的で双方向性があり、また、情報の拡散性に優れているフェイスブックなどのSNSによる情報発信を継続して行います。区民や区内事業者に対して、有益な情報を発信することで、まちみらい千代田の認知度を高めることにつなげます。

## 理事会・評議員会・監査

定款第21条及び第42条に基づき開催した評議員会及び理事会では、次のとおり各議事について、可決及び承認を得ました。また、定款第35条の規定に基づき実施された監査において、事業報告及び決算はいずれも適正と認められました。

### (1) 理事会の開催状況

回数	開催年月日	番号	件名
第1回	平成29年 7月27日(木)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田第4期事業報告(案)について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田第4期決算(案)について
		議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について
第2回	平成29年 9月1日(金) 書面決議	議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田理事長及び副理事長の選定について
		議案第5号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について
		議案第6号	議決日について
第3回	平成29年 10月10日(火) 書面決議	議案第7号	公益財団法人まちみらい千代田事業内容の変更に伴う公益法人の変更認定の申請をすることについて
		議案第8号	議決日について
第4回	平成29年 12月1日(金)	議案第9号	公益財団法人まちみらい千代田就業規則の一部を改正する規則について
		議案第10号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について

回数	開催年月日	番号	件名
		— —	◎理事長・副理事長の職務執行状況報告 ◎第5期事業実施状況中間報告
第5回	平成29年 12月27日(水) 書面決議	議案第11号  議案第12号	公益財団法人まちみらい千代田職員の 給与に関する規程の一部改正について  議決日について
第6回	平成30年 3月28日(水) 書面決議	議案第13号  議案第14号	公益財団法人まちみらい千代田理事長 の選任について  議決日について
第7回	平成30年 3月30日(金) 書面決議	議案第15号  議案第16号	公益財団法人まちみらい千代田事務局 長の任免について  議決日について
第8回	平成30年 4月26日(木)	議案第17号  議案第18号  議案第19号  議案第20号  議案第21号	公益財団法人まちみらい千代田第6期 事業計画(案)について  公益財団法人まちみらい千代田第6期 収支予算(案)について  公益財団法人まちみらい千代田就業規 則の一部を改正する規則について  公益財団法人まちみらい千代田職員の 給与に関する規程の一部改正について  公益財団法人まちみらい千代田職員の 退職手当に関する規程の一部改正につ いて

回数	開催年月日	番号	件名
		議案第22号	公益財団法人まちみらい千代田育児休業等に関する規程の一部改正について
		議案第23号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について
		—	◎理事長の職務執行状況報告



## (2) 評議員会の開催状況

回数	開催年月日	番号	件名
第1回	平成29年 8月24日(木)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田第4期事業報告(案)について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田第4期決算(案)について
		議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田評議員の選任について
		議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田理事及び監事の選任について
第2回	平成29年 9月15日(金)	議案第5号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会会長の互選について
		議案第6号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会副会長の互選について
第3回	平成29年 12月19日(火)	議案第7号	公益財団法人まちみらい千代田理事の選任について
		—	◎第5期事業実施状況中間報告
第4回	平成30年 5月23日(火)	議案第8号	公益財団法人まちみらい千代田第6期事業計画(案)について
		議案第9号	公益財団法人まちみらい千代田第6期収支予算(案)について
		議案第10号	公益財団法人まちみらい千代田理事の選任について

### (3) 監査の実施

#### ①中間監査

実施日 平成30年1月22日（月）

場 所 公益財団法人まちみらい千代田 4階 理事長室

内 容 （1）公益財団法人まちみらい千代田第5期事業中間報告  
（2）公益財団法人まちみらい千代田第5期中間時点での財務諸表

#### ②決算監査

実施日 平成30年7月10日（火）

場 所 公益財団法人まちみらい千代田 4階 会議室

内 容 （1）公益財団法人まちみらい千代田第5期事業報告  
（2）公益財団法人まちみらい千代田第5期決算